

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010300	事業の種類	
年度	28	事務事業名	土地利用規制等対策事業	予算事業名	土地利用規制等対策事業 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する	担当課長	山崎久司	担当者名 後藤卓
取組み事項		計画的な都市空間を形成する	実施計画への記載		主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		国土利用計画法・公有地の拡大の推進に関する法律等			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	土地取得者・土地を有償で譲り渡そうとする当該土地所有者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	総合的で計画的な国土利用を図る。また、必要な土地の先買いを行い、公有地の拡大の計画的な推進を図り、もって地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		一定面積以上の土地取引において、買主から出された「土地売買等届出」を受理し、県に進達する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	国土法届出件数	件	8	3	6	
	公拡法届出件数	件	0	0	0	
	用地取得面積	m ²	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.040	50	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	978,373	943,814	96	951,226	101	646,993	68	
	事業費	2,000	0	0	0	-	5,000	-	
	合計	980,373	943,814	96	951,226	101	651,993	69	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	12,000	15,000	125	13,000	87	13,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	968,373	928,814	96	938,226	101	638,993	68	
合計	980,373	943,814	96	951,226	101	651,993	69		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		届出件数の増減							
指標説明(式)		国土法届出件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	8	3	37.5	6	200.0			
指標名2		届出件数の増減							
指標説明(式)		公拡法届出件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	法令上の届出基準を遵守し、届出等の受理を行った。	4
効率性	執行体制の 効率性	速やかに届出等を受理し、県に送付を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公拡法による届出、申出事務が平成24年度より市に権限移譲されたが、届出件数はほとんどない状況である。	4

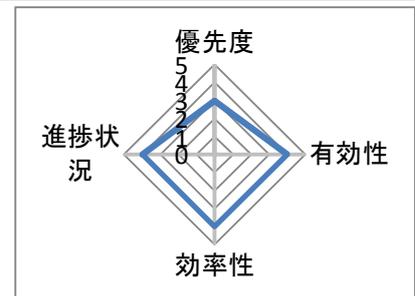
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の 効率性	届け出内容について県との連絡調整が重要

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の 効率性	県との連絡調整を強化する



配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010400	事業の種類	3
年度	28	事務事業名	都市計画基礎調査事業	予算事業名	都市計画基礎調査事業 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無
実施計画事業名		相生市都市計画マスタープラン見直し事業		都市計画地形図修正事業	
		都市計画道路整備事業		緑の基本計画の見直し事業	
根拠法規及び関連法規					
都市計画法第6条(県からの協力要請)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画に必要な事項に関する基礎資料として都市の状況を把握するため調査をする。			
	誰(何)を対象として	都市計画区域の人々			
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市の現状、都市化の動向等を正確に把握し都市計画の決定、変更を行うための基準となる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県都市計画基礎調査要綱に基づき、人口規模、就業人口の規模、市街地の面積、世帯数及び住宅戸数、住宅の規模、建築物の用途、構造、建築面積及び延べ面積等について項目を5年に分けてに調査し、6年目には当初の項目に戻って調査を繰り返している。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	都市計画基礎調査	件	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.844	0.684	81	0.660	96	0.656	99	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	6,897,845	5,462,942	79	5,321,526	97	5,513,393	104	
	事業費	55,245	51,969	94	50,421	97	108,000	214	
	合計	6,953,090	5,514,911	79	5,371,947	97	5,621,393	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	337,000		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,616,090	5,514,911	83	5,371,947	97	5,621,393	105	
合計	6,953,090	5,514,911	79	5,371,947	97	5,621,393	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県からの委託状況							
指標説明(式)		委託料							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	337000	270000	80.1	270000	100.0	270000	100.0	
	実績	337000	270000	80.1	270000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

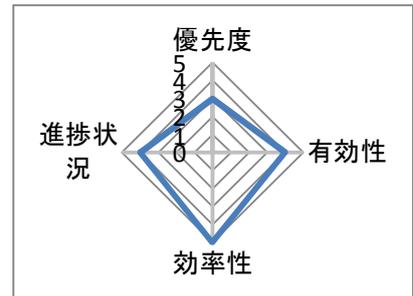
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令で義務付けられている事務事業。	4
	上位施策への貢献度	この調査は、県が主体となるが、しいては本市の将来の都市計画を見直す際の基礎資料となるため十分有効活用が図られている。	
効率性	コストの節減	図面等については、近年徐々に改善され、県のシステムにてWeb入力し、メディアによる提出が不要となり、コスト縮減に努められている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	この調査は、県の調査委託に基づき実施しているが、事業量から評価すれば市の負担は大きい、市においてもこの資料を使い都市計画の決定の時に参考としている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	基礎調査に必要なデータを建築係、農業員会、各道路管理者から供与してもらい作業を行うが、効率よく実施する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101010500		事業の種類		1	
年度	28	事務事業名	屋外広告物取扱事業	予算事業名	屋外広告物取扱事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	山崎久司	担当者名	後藤卓
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		屋外広告物法、兵庫県屋外広告物条例、兵庫県屋外広告物条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	屋外広告物掲出者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	屋外広告物の掲出に必要な規制を行い、街の美観・風致を維持しつつ安全性を高め、市民の安全かつ快適な生活の維持を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回(月4回)違法屋外広告物簡易除却事業を実施					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	除却件数	件	9	7	20	10	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.640	0.640	100	0.640	100	0.340	53	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	5,317,253	5,133,734	97	5,170,826	101	3,016,993	58	
	事業費	565,852	558,375	99	548,066	98	566,000	103	
	合計	5,883,105	5,692,109	97	5,718,892	100	3,582,993	63	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,883,105	5,692,109	97	5,718,892	100	3,582,993	63	
合計	5,883,105	5,692,109	97	5,718,892	100	3,582,993	63		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		除却件数の増減							
指標説明(式)		除却件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	15	10	66.7	10	100.0	10	100.0	
	実績	9	7	77.8	20	285.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		除却件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.01	0.01	100.0	0.01	100.0	0.01	100.0	
	実績	0.007	0.004	57.1	0.015	375.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	除却件数は毎年異なるので単純に数値で比較できないが、違法広告物の除却を迅速に行うことで、市民生活の安全性と快適性が図られる。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	屋外広告物は、営業の自由と市民生活の景観や安全との関係上、公共の福祉の制約を受けるものであるから、両者の対立利益を調整する上で必用な施策である。	
効率性	コストの節減	除却件数が増加。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

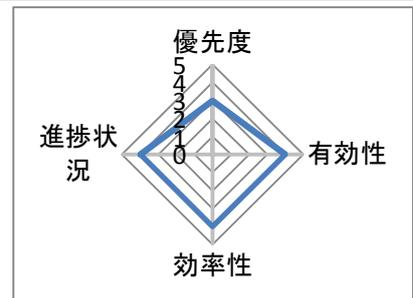
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	平成29年度より都市整備課より事務移管。事務の平準化により効率化を図る。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101010600		事業の種類		6	
年度	28	事務事業名	東部土地区画整理事業	予算事業名	東部土地区画整理事業	優先度	2
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名		建設農林部都市整備課	
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	片山 和彦
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地区画整理法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者					
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	平成27年度に東部土地区画整理事業の廃止を行った。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		組合施行による土地区画整理事業の事業の廃止を行った。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	準備委員会等	回	0	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.012	0.008	67	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	451,509	405,110	90	408,706	101	394,193	96	
	事業費	5,280	5,280	100	0	0	22,000	-	
	合計	456,789	410,390	90	408,706	100	416,193	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	456,789	410,390	90	408,706	100	416,193	102	
合計	456,789	410,390	90	408,706	100	416,193	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		準備委員会開催							
指標説明(式)		準備委員会開催回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	2	100.0	0	0.0	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	平成27年度 事業の廃止が決定された。	1
効率性	手段の最適性	平成27年度 事業の廃止が決定された。	1
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成27年度 事業の廃止が決定された。	1

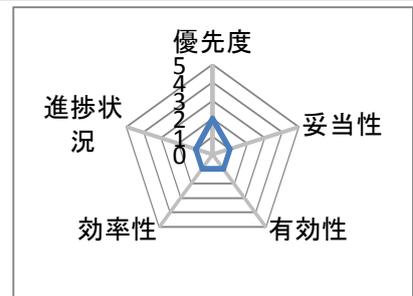
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	平成27年に東部区画整理事業の廃止を行った。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	平成27年に東部区画整理事業の廃止を行った。



配点	32.5
総合評価	8.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010700		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	特別指定区域事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤誠		担当者名	片山和彦
取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法第34条12号・兵庫県都市計画法施行条例8条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市街化調整区域の規制緩和のため「地縁者の住宅区域」を指定し集落周辺に10年以上居住したことのあつた地縁者であれば住宅建設が可能。					
	誰(何)を対象として	市土地利用基本計画に基づいて特別指定区域を定めた地区。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	平成18年5月に既存宅地制度が廃止されたことから、この代替施策を兼ねこの度の導入として市土地利用基本計画を策定し地縁者の住宅建設に対応した規制緩和を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地利用計画の策定・特別指定区域の指定(地縁者の住宅区域)				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	土地利用計画策定	件	0	0	0	0
	特別指定区域の作成	件	0	0	0	0

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.044	0.024	55	0.024	100	0.512	2,133	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	699,445	524,822	75	529,266	101	4,375,793	827	
	事業費			-		-		-	
	合計	699,445	524,822	75	529,266	101	4,375,793	827	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	699,445	524,822	75	529,266	101	4,375,793	827	
合計	699,445	524,822	75	529,266	101	4,375,793	827		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地元説明会開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1ha当たりのコスト							
指標説明(式)		当該年度事業費合計÷市街化調整区域の面積							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	法令及び条例等義務付けられている事務事業。	4
効率性	手段の最適性	基礎調査のデータ等の活用により特別指定区域の素案作成を効率的に行うことができる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	3

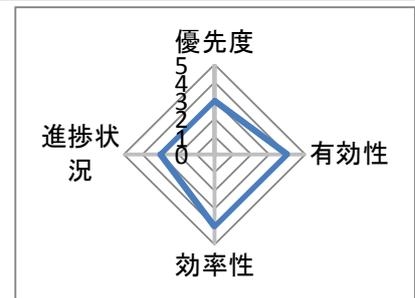
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	平成28年度に都市計画マスタープランの改定を行った。この計画に即した特別指定区域を検討し、市街化調整区域の街づくりを推進する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	平成28年度に都市計画マスタープランの改定を行った。この計画に即した特別指定区域を検討し、土地利用計画を推進していく。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050101010800	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	地区計画決定事業
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	予算事業名	
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する	担当部局名	建設農林部都市整備課
取組み事項	計画的な都市空間を形成する	担当課長	齊藤 誠
		担当者名	名倉・古川
		実施計画への記載	無
		主要事業の指定	無
実施計画事業名			
根拠法規及び関連法規	都市計画法		
事業の目的	誰のために(具体的に)	計画決定予定地区の権利者	
	誰(何)を対象として	区域内の道路、公園等の施設整備、建築物等に関する事項	
	意図(どのような状態にしたいのか)	道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定め良好な住環境の整備を行う。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	一体的な整備及び保全を図る区域について、主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定める。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	決定地区件数	件	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.130	0.180	138	0.072	40	0.080	111	
	臨時職員			-		-	0.020	-	
支出内訳	人件費	1,365,773	1,692,014	124	890,946	53	1,018,373	114	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,365,773	1,692,014	124	890,946	53	1,018,373	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,365,773	1,692,014	124	890,946	53	1,018,373	114	
合計	1,365,773	1,692,014	124	890,946	53	1,018,373	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	地区計画決定件数								
指標説明(式)	地区計画決定件数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績	0	0	-	0	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		地区計画内容権利者協議時間							
指標説明(式)		地区計画決定に当たり、権利者との協議等に要する時間							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	新市街地において地区計画決定を検討	3
効率性	執行体制の 効率性	決定内容の権利者の意向の掌握、合意形成が困難	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

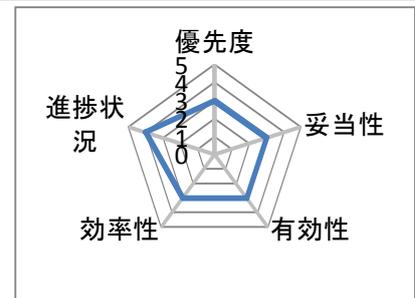
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	計画決定候補地が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	新市街地において地区計画決定を検討する。



配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010900	事業の種類	1
年度	28	事務事業名	地籍調査事業	予算事業名	地籍調査事業
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	竹本 頼高	担当者名 船曳 直志
取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名	地籍調査事業(システム含む)				
根拠法規及び関連法規	国土調査法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民 (土地の明確化により、公共事業及び土地取引等が円滑にできるようになり、個人資産の保全につながる)			
	誰(何)を対象として	土地所有者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	一筆毎の土地の、所有者・地番・地目・境界を確認し、面積を測量し、正確な地籍図・地籍簿を作る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	一筆毎の土地の、所有者・地番・地目・境界を確認し、面積を測量し、正確な地籍図・地籍簿を作る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	地籍調査地区数	地区	3	3	3	3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	2.116	1.901	90	1.684	89	1.672	99
	臨時職員	1.000	0.920	92	0.920	100	0.920	100
支出内訳	人件費	19,183,301	16,886,016	88	15,435,806	91	16,087,273	104
	事業費	16,749,207	14,673,825	88	15,017,566	102	12,092,000	81
	合計	35,932,508	31,559,841	88	30,453,372	96	28,179,273	93
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金	12,549,000	10,962,000	87	11,325,000	103	8,562,000	76
	市債			-		-		-
	その他	1,240	600	48		0		-
	一般財源	23,382,268	20,597,241	88	19,128,372	93	19,617,273	103
合計	35,932,508	31,559,841	88	30,453,372	96	28,179,273	93	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	事業費								
指標説明(式)	事業費								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15572000	15275000	98.1	15280000	100.0	12029000	78.7	
	実績	16904420	14818764	87.7	15017566	101.3			
指標名2	進捗率								
指標説明(式)	地籍調査対象面積(優先的に地籍の明確化を図る地域)に対する進捗率								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	10.5	11.7	111.4	13.5	115.4	14.3	105.9	
	実績	10.5	12.2	116.2	13.5	110.7			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業目標は、達成している。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令等の意図と合致している。	
効率性	コストの節減	入札による削減が図られている。	4
	執行体制の効率性	事業委託により役割分担を行うことで、効率的に行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

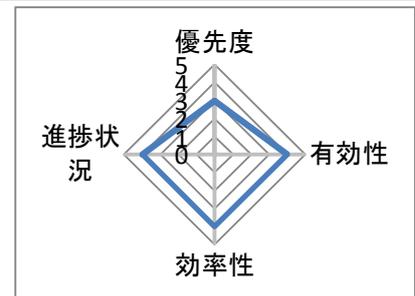
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	人員不足が事業運営に支障をきたす恐れがある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	限られた予算の中で、更なる事業の進捗に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011000	事業の種類	1
年度	28	事務事業名	都市計画議事運営事業	予算事業名	都市計画総務費事務経費 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		担当者名	片山和彦
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		都市計画法77条の2第1項・相生市都市計画審議会条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画区域の人々			
	誰(何)を対象として	市の都市計画について			
	意図(どのような状態にしたいのか)	審議会を開催し、事案を諮問し答申を得る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		都市計画法によりその権限に属された事項を調査審議させ、及び市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査審議する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	都市計画審議会開催	回	1	1	3	3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.164	0.064	39	0.788	1,231	0.720	91	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,629,205	824,102	51	6,286,006	763	6,018,993	96	
	事業費	254,641	5,004,365	1,965	7,918,621	158	519,000	7	
	合計	1,883,846	5,828,467	309	14,204,627	244	6,537,993	46	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,883,846	5,828,467	309	14,204,627	244	6,537,993	46	
合計	1,883,846	5,828,467	309	14,204,627	244	6,537,993	46		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		都市計画審議会開催回数							
指標説明(式)		実施開催回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	1	1	100.0	3	300.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		都市計画審議会1回当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費÷開催回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	122000	122000	100.0	162000	132.8	162000	100.0	
	実績	55220	55220	100.0	54000	97.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令及び条例等で義務づけられている事務事業。	5
	成果目標(改善)達成度	都市計画決定により計画的なまちづくりの推進が出来た。	
効率性	執行体制の効率性	平成20年第1回定例市議会において審議会委員の定数を14人から10人に削減し効率的に運営を図った。	5
	コストの節減	審議会委員の県外視察の廃止。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

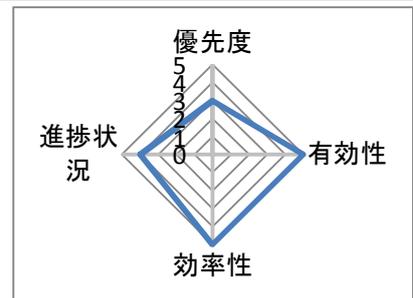
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	審議会委員の非公開から公開への移行

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	審議会議事運営要綱の施行に伴い審議会は、原則として公開している。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011100		事業の種類	3		
年度	28	事務事業名	土地区画整理事務事業		予算事業名	土地区画整理事務経費	優先度	2
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤誠	担当者名	片山和彦	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業実施者として、事業執行のための知識及び情報収集を行うことにより、事業の公平性、妥当性を図る。						
	誰(何)を対象として	事業実施者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	制度改正等に対応した適正な事業を執行するため。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		区画整理事業及び住環境整備事業遂行のための上部団体との情報交換					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	研修会等旅費	千円	3	3	4	4	
	協議会等負担金	千円	29	29	29	29	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
	事業費	31,640	31,640	100	29,000	92	43,000	148	
	合計	390,173	376,894	97	377,426	100	373,993	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	390,173	376,894	97	377,426	100	373,993	99	
合計	390,173	376,894	97	377,426	100	373,993	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	協議会等の負担金は、継続的であり前年度とほぼ同額である。	3
効率性	コストの節減	研修会への参加を最小人数で行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

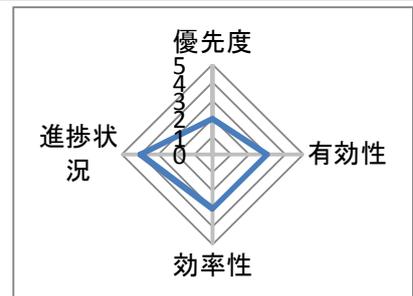
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	相生市内の土地区画整理事業が平成29年度で終了する。今後は団体加入への精査を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	相生市内の土地区画整理事業が平成29年度で終了する。今後は団体加入への精査を行う。



配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011200	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	国土利用計画策定事業	予算事業名	国土利用計画策定事業 優先度 ー
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		担当者名	横川 昌紀
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	有
根拠法規及び関連法規		国土利用計画法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	相生市全体の土地			
	意図(どのような状態にしたいのか)	長期にわたって安定的かつ均衡のある土地利用を実現			

2 事業の概要 Do

実施の概要		安定かつ均衡ある相生市の土地利用の実現のため、平成6年に策定した前計画から、社会・経済情勢の変化に即した計画へと改定する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	調整部会の開催	回	—	4	7	—
	検討委員会の開催	回	—	1	4	—
	検討会議の開催	回	—	—	4	—

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	—	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員		0.184	—	0.496	270	0.172	35	
	臨時職員			—		—		—	
支出内訳	人件費		1,721,942	—	4,085,786	237	1,689,793	41	
	事業費		2,268,000	—	3,400,920	150		0	
	合計		3,989,942	—	7,486,706	188	1,689,793	23	
財源内訳	国庫支出金			—		—		—	
	県支出金			—		—		—	
	市債			—		—		—	
	その他			—		—		—	
	一般財源		3,989,942	—	7,486,706	188	1,689,793	23	
合計		3,989,942	—	7,486,706	188	1,689,793	23		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		検討会議の委員数							
指標説明(式)		国土利用計画の策定における外部の参加者数(学識者、市行政に対する見識者、地域団体等の代表者、公募委員等)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	—	—	—	18	—	—	—	
	実績	—	—	—	18	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

指標名1		市民アンケート回答率							
指標説明(式)		国土利用計画の策定における市民アンケートの回答率							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	—	50	—	—	—	—	—	
	実績	—	51.4	—	—	—	—	—	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	策定における幅広い意見を反映できるような体制を整え、計画策定に向けた会議を開催した。	5
効率性	執行体制の効率性	都市計画マスタープランと同時に改定を行うことで、両計画の整合性を図るだけでなく、効率的な策定会議の開催につながった。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	目標としていた平成28年度中の計画策定を達成した。	5

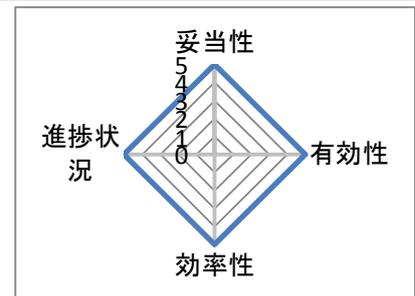
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	土地利用に関する具体的な計画に取り組む必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	具体的に動きを進めるため、実効計画策定の検討を行う。



配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101020100		事業の種類		6	
年度	28	事務事業名	相生駅南土地区画整理事業	予算事業名	相生駅南土地区画整理事業	優先度	—
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	片山 和彦
取組み事項		都市核を形成する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名		相生駅南土地区画整理事業					
根拠法規及び関連法規		土地区画整理法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者					
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用促進を図り、魅力あるまちづくりを行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用促進を図り、魅力あるまちづくりを行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	道路整備	m	0	19	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	1.032	0.652	63	0.048	7	0.048	100	
	臨時職員			—		—		—	
支出内訳	人件費	8,354,469	5,223,518	63	710,106	14	710,193	100	
	事業費	154,687,829	123,779,424	80	1,675,420	1	147,000	9	
	合計	163,042,298	129,002,942	79	2,385,526	2	857,193	36	
財源内訳	国庫支出金			—		—		—	
	県支出金			—		—		—	
	市債			—		—		—	
	その他			—		—		—	
	一般財源	163,042,298	129,002,942	79	2,385,526	2	857,193	36	
合計	163,042,298	129,002,942	79	2,385,526	2	857,193	36		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路整備延長							
指標説明(式)		道路整備延長							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
m	目標	0	19	—	0	0.0	0	—	
	実績	0	19	—	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	換地処分が完了し、精算事務も残りわずかとなった。	5
効率性	執行体制の効率性	平成19年度より課内の係員の減があったが、今年度も同じく執行体制の効率性を図った。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	5

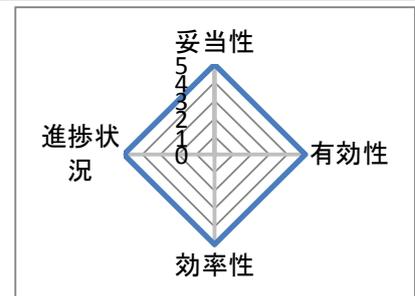
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	工事は完了し、平成29年度は清算事務の完了を目指す

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	工事は完了し、平成29年度は清算事務の完了を目指す



配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101020200	事業の種類	3
年度	28	事務事業名	相生駅南地区街づくり助成事業	予算事業名	相生駅南地区街づくり助成事業
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		優先度	3
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当部局名	建設農林部都市整備課
取組み事項		都市核を形成する		担当課長	齊藤誠
				担当者名	片山和彦
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の商業地区における土地及び建物の所有者			
	誰(何)を対象として	事業地内の商業地区において、要件を満たした建物を建築した場合に、その建築物及び敷地。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業地内の商業地区において、土地の有効利用を促進することにより、駅前の高度利用を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生駅南土地区画整理事業区域内の商業地域内で、土地使用収益開始の日から5年以内に、「相生駅南地区建築行為等の遵守基準」に適合し、かつ地上4階建以上で1階から4階までの各階床面積が200㎡を超える建築物の所有者及び土地所有者に、対象建築物とその敷地と				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	助成金額	千円	9375	9931	9914	3989
	助成件数	件	2	2	2	1

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.016	0.012	75	0.024	200	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	482,501	435,038	90	529,266	122	520,593	98	
	事業費	9,375,000	9,931,000	106	9,914,000	100	3,989,000	40	
	合計	9,857,501	10,366,038	105	10,443,266	101	4,509,593	43	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,857,501	10,366,038	105	10,443,266	101	4,509,593	43	
合計	9,857,501	10,366,038	105	10,443,266	101	4,509,593	43		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成土地利用率							
指標説明(式)		(助成決定面積による)助成対象土地面積/駅南商業地全体面積(31,000㎡) × 100 H21 = (650+747+905+637) / 31,000 × 100 = 9.5							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	9.5	9.5	100.0	9.5	100.0	9.5	100.0	
	実績	9.5	9.5	100.0	9.5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	駅前地区の高度利用が図られつつある。	4
効率性	執行体制の効率性	助成対象となる土地の評価額等の動向を読み、今後の事業費の予測を的確に把握している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

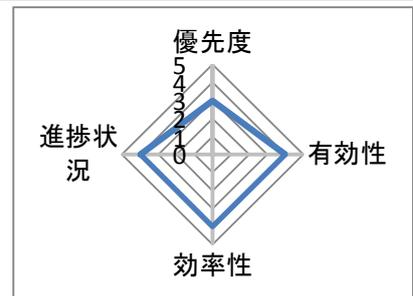
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	上位施策への貢献度	大規模な建物が建設されることにより、高度化が図られた。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	助成期間が終了し、助成対象となる建物が減少しているが、事業は継続していく。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101030100		事業の種類		6	
年度	28	事務事業名	那波丘の台土地区画整理事業		予算事業名	那波丘の台土地区画整理事業 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	片山 和彦
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名		那波丘の台地区市街地整備事業					
根拠法規及び関連法規		土地区画整理法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者					
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用増進を図り、魅力あるまちづくりを行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用増進を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	道路整備	m	0	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.968	0.636	66	0.608	96		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	7,858,597	5,103,806	65	4,929,706	97	330,993	7	
	事業費	30,595,704	12,454,290	41	4,741,104	38		0	
	合計	38,454,301	17,558,096	46	9,670,810	55	330,993	3	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	38,454,301	17,558,096	46	9,670,810	55	330,993	3	
合計	38,454,301	17,558,096	46	9,670,810	55	330,993	3		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路整備延長							
指標説明(式)		道路整備延長							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
m	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	道路整備及び公園整備において、予定どおり年度内にすべて完了した。	5
効率性	執行体制の効率性	平成19年度より課内の職員数が減となり、今年度においても個々の事務量が増加したが、効率性を高めつつ当該年度の事業を進めた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成28年度に事業完了した。	5

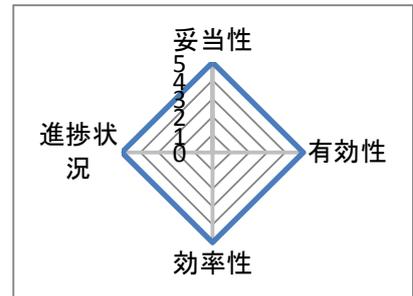
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	平成28年度に事業完了した。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	平成28年度に事業完了した。



配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030200		事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	經由進達事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠		担当者名	名倉・古川
取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		租税特別措置法、県：景観の形成等に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	県					
	誰(何)を対象として	建築確認申請・道路位置指定申請・優良住宅認定申請・耐震改修補助申請・大規模建築物等の届出・建基法上の許認可申請・都計法上の許認可申請					
	意図(どのような状態にしたいのか)	県への經由進達					

2 事業の概要 Do

実施の概要		建築基準法、租税特別措置法、景観の形成等に関する条例(県条例)に基づき市の意見書、進達書等を付して進達する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	確認申請受付件数	件	11	4	4		
	調査依頼件数	件	113	165	130		
	大規模建築物届出件数	件	0	1	1		
	建基法・都計法許認可申請	件	20	22	22		

3 投入資源

		会計区分			事業費単位：円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.380	0.120	32	0.208	173	0.080	38	
	臨時職員			-		-	0.160	-	
支出内訳	人件費	3,302,773	1,243,094	38	1,915,706	154	1,406,033	73	
	事業費			-		-		-	
	合計	3,302,773	1,243,094	38	1,915,706	154	1,406,033	73	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,302,773	1,243,094	38	1,915,706	154	1,406,033	73	
	合計	3,302,773	1,243,094	38	1,915,706	154	1,406,033	73	

※ 事業の進捗状況

事業費単位：円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		確認申請1件あたり調査書作成手数料							
指標説明(式)		(指定確認検査機関よりの納入額 + 移譲事務市町交付金) ÷ 調査件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	3119	3283	105.3	3076	93.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		確認申請1件あたり受付処理時間(事前相談含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(56時間) ÷ 1年間の受付件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	5	5	100.0	5	100.0			
指標名2		調査依頼1件あたり受付処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(691時間) ÷ 1年間の受付件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	6	4	66.7	6	150.0			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	建築確認申請の審査が特定行政庁から民間の指定機関へ移行している。	3
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

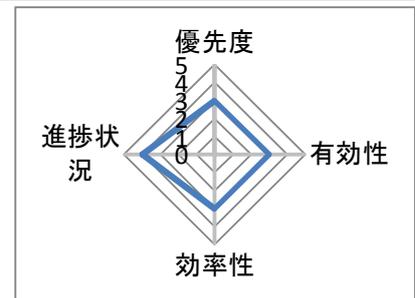
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	法的に市の経由進達についての根拠がなく窓口市ということで経由しており、関与の必要性が薄い経由事務がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	1件あたりの事務処理時間の短縮に努める。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030300		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	開発行為関連事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	國重・名倉	
取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	開発計画等のある者又はその代理人					
	誰(何)を対象として	都市計画法32条に基づく同意・協議申請及び29条に基づく開発許可申請					
	意図(どのような状態にしたいのか)	32条に基づく協議及び同意、29条に基づく申請の経由進達					

2 事業の概要 Do

実施の概要		開発行為により設置される公共施設の管理者協議のとりまとめ、開発の技術基準に基づく指導。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	32条協議申請	件	11	13	7		
	29条申請	件	9	15	6		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.280	0.580	207	0.720	124	0.520	72	
	臨時職員			-		-	0.012	-	
支出内訳	人件費	2,527,973	4,684,814	185	5,773,626	123	4,472,221	77	
	事業費			-		-		-	
	合計	2,527,973	4,684,814	185	5,773,626	123	4,472,221	77	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,527,973	4,684,814	185	5,773,626	123	4,472,221	77	
	合計	2,527,973	4,684,814	185	5,773,626	123	4,472,221	77	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		32条協議 1件あたり処理期間(事前協議含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(543時間) ÷ 1年間の協議件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	49	42	85.7	55	131.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	帰属される公共施設の管理者協議のとりまとめをする。	3
効率性	執行体制の効率性	関係各課を対象とする連絡調整会議又は個別各課協議。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

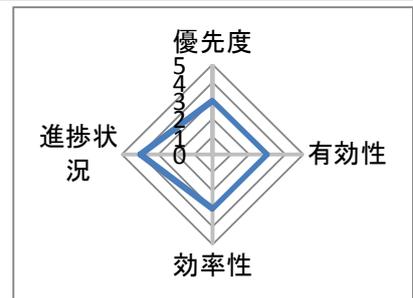
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	関係各課との協議方法

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係各課及び申請代理人を交えて調整会議を開催し、情報共有や課題の把握を行う。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030400		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	優良住宅・宅地認定事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	名倉・古川	
取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		租税特別措置法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	優良住宅・宅地					
	意図(どのような状態にしたいのか)	優良住宅・優良宅地の認定基準に適合するものを認定し、税制上の優遇措置を受けてもらう。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		租税特別措置法の認定基準に合う住宅・宅地の認定をする。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	認定件数	件	0	0	0		

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.056	0.052	93	0.032	62	0.020	63	
	臨時職員			-		-	0.008	-	
支出内訳	人件費	792,421	734,318	93	589,546	80	511,145	87	
	事業費			-		-		-	
	合計	792,421	734,318	93	589,546	80	511,145	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	792,421	734,318	93	589,546	80	511,145	87	
合計	792,421	734,318	93	589,546	80	511,145	87		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		申請書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数 ÷ 1年間の申請件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	0	0	-	0	-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	税の特例を受けるための制度であるが、制度利用者等は少ない。	3
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

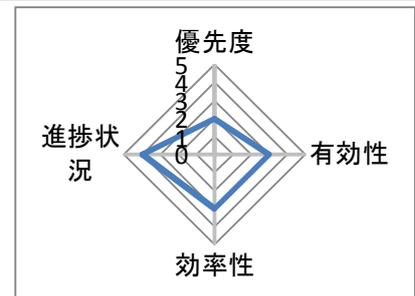
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	制度の必要性が薄れてきている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030500		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	地区計画適合審査事業		予算事業名		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長			
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地区計画決定区域内で建築行為等を行おうとする者又はその代理人					
	誰(何)を対象として	地区計画区域内の建築行為等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	建築行為等が地区計画の決定内容に適合するよう指導することにより区域内の良好な環境の保全、整備を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地区計画決定区域内における建築行為等の届出書の受付及び決定事項に適合しているかどうかの審査をする。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	受付認定件数	件	5	6	4		

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.114	0.206	181	0.188	91	0.108	57	
	臨時職員			-		-	0.100	-	
支出内訳	人件費	1,241,805	1,886,546	152	1,765,006	94	1,461,093	83	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,241,805	1,886,546	152	1,765,006	94	1,461,093	83	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,241,805	1,886,546	152	1,765,006	94	1,461,093	83	
合計	1,241,805	1,886,546	152	1,765,006	94	1,461,093	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		届出書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数(221時間) ÷ 1年間の届出件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	44	37	84.1	55	148.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	決定区域内の良好な環境の保全、整備状況	3
効率性	コストの節減	審査用のチェック表の作成等審査時間の短縮を図っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

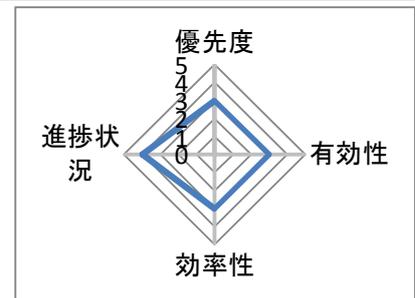
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	土地利用が進むにつれ、届出件数は減少していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	届出後の変更等により、適合していないものがないか、現地確認が必要。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030600		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	道路判定台帳整備事業		予算事業名		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	名倉・國重・古川
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		建築基準法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	建築計画のある市民及びその代理人					
	誰(何)を対象として	建築基準法上の道路に関する情報図					
	意図(どのような状態にしたいのか)	計画敷地が建築基準法上の道路に接道しているかどうか判断できる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		建物等建築計画のある市民に建築基準法上の道路の取り扱いについて情報を提供する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	書込路線件数	件	4	7	3		
	閲覧件数	件	257	237	182		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.156	0.226	145	0.196	87	0.076	39	
	臨時職員			-		-	0.080	-	
支出内訳	人件費	1,567,221	2,036,186	130	1,825,286	90	1,152,913	63	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,567,221	2,036,186	130	1,825,286	90	1,152,913	63	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,567,221	2,036,186	130	1,825,286	90	1,152,913	63	
合計	1,567,221	2,036,186	130	1,825,286	90	1,152,913	63		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路判定閲覧件数							
指標説明(式)		道路判定結果を閲覧した件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績	257	237	92.2	182	76.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	道路判定結果を市民の閲覧に供する。	3
効率性	執行体制の効率性	県民局の道路判定結果を地形図に書き込みしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

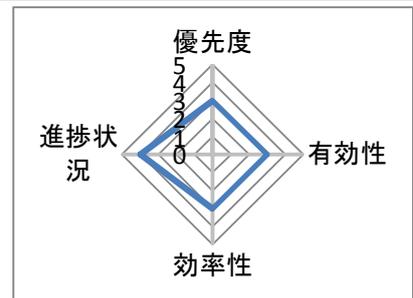
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	建築基準法上の道路であるかの判定結果を閲覧に供しているが、未判定の道路が多くある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	県が道路判定する際に必要な資料、情報を前もって準備、提供する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030700		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	市有建物営繕事業		予算事業名			
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠		担当者名	名倉・國重
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	関係課						
	誰(何)を対象として	市有建物						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市有建物の営繕工事において担当課にかわり建築技術職員が委託業務内容、工事内容を把握し設計書を作成する。又、契約図書等に基づき請負者に対し契約の履行を指導する。市有						

2 事業の概要 Do

実施の概要		施設管理者に代わり業務委託・工事発注に必要な設計書を作成する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	委託件数	件	3	2	1		
	営繕工事件数	件	7	12	2		

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.860	1.360	158	1.160	85	1.080	93	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	7,021,813	10,520,774	150	9,089,026	86	8,862,993	98	
	事業費			-		-		-	
	合計	7,021,813	10,520,774	150	9,089,026	86	8,862,993	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,021,813	10,520,774	150	9,089,026	86	8,862,993	98	
	合計	7,021,813	10,520,774	150	9,089,026	86	8,862,993	98	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		営繕工事1件あたりの処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(2635時間) ÷ 工事件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	238	220	92.4	376	170.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	施設管理上の営繕工事の実施	3
効率性	執行体制の効率性	関係各課より受託工事	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

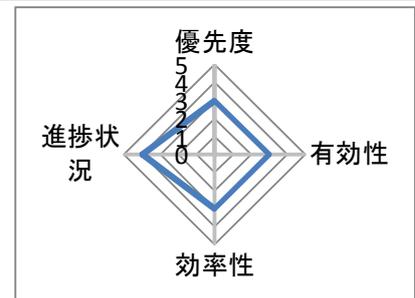
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	破損、老朽箇所等の修繕のみを実施し、建物の延命化を図る工事が行われない傾向がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	建物の延命化を図る工事の提案をし、施設管理者に予算措置を依頼する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030800		事業の種類	9				
年度	28	事務事業名	住環境整備費事務経費		予算事業名	住環境整備費事務経費		優先度		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名		建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する			担当課長		齊藤 誠		担当者名	古川 露子
取組み事項		住環境の整備と保全を行う			実施計画への記載		無		主要事業の指定	無
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)									
	誰(何)を対象として									
	意図(どのような状態にしたいのか)									

2 事業の概要 Do

実施の概要		旅費、消耗品費のみである。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.040	-	0.040	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	649,826	188	646,993	100	
	事業費	115,667	121,760	105	135,935	112	142,000	104	
	合計	474,200	467,014	98	785,761	168	788,993	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	474,200	467,014	98	785,761	168	788,993	100	
合計	474,200	467,014	98	785,761	168	788,993	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

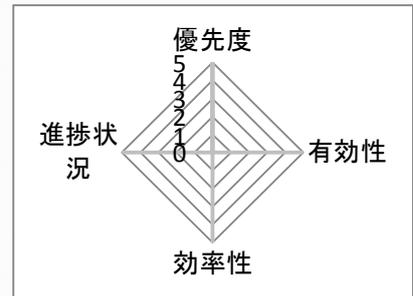
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030900		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	空き家対策事業		予算事業名	空家等対策事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松本 秀文		担当者名	志水 弘樹
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	有		主要事業の指定	有
実施計画事業名		空き家対策事業						
根拠法規及び関連法規		空家等対策の推進に関する特別措置法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	空家等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	空家等を適正管理することで、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与することを目的とする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		空家等実態調査等により空家件数を把握し、適正管理を促す				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	空家件数	棟		784	795	800

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員		0.462	-	0.840	182	0.820	98	
	臨時職員		0.176	-	0.160	91	0.160	100	
支出内訳	人件費		4,245,282	-	7,094,946	167	7,252,033	102	
	事業費		1,298,938	-	96,929	7	10,619,000	10,955	
	合計		5,544,220	-	7,191,875	130	17,871,033	248	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		5,544,220	-	7,191,875	130	17,871,033	248	
合計		5,544,220	-	7,191,875	130	17,871,033	248		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		空家判定D件数							
指標説明(式)		地域住民の安全のためD判定の空家の解消を促す							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
棟	目標		30	-	30	100.0	25	83.3	
	実績		31	-	28	90.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		空家等の相談件数							
指標説明(式)		空家等の相談件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標		30	-	30	100.0	30	100.0	
	実績	9	28	311.1	23	82.1			

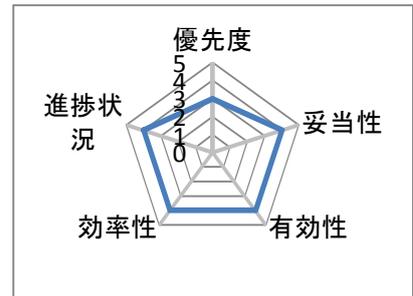
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	空家等の有効活用から危険空家の解消まで幅広い対応が期待されている。	4
	成果の向上	地域住民の安全・安心のためには空家等対策の成果の向上が必要となっており有効な施策を行っていく必要がある。	
効率性	負担割合の適正化	空家等の適正管理には所有者等の理解が必要となっているため必要に応じて財政支援の検討が必要である。	4
	執行体制の効率性	空家等の適正管理には所有者等の理解が必要となっているため各種関係団体との連携が必要となるため体制づくりを行う。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	空家等の適正管理には所有者等の理解が必要となっているため必要に応じて財政支援を行う必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	空家等対策計画に基づき具体的な財政支援策の検討が必要である

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101031000		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	住宅耐震改修促進事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠		担当者名	國重・古川
取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	住宅					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地震に対する安全性の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		耐震診断を実施した住宅に対する、耐震改修工事費等を助成する。 平成28年度まで県事業の上乗せ補助のみであったが、平成29年度より県事業から市の事業へ移管された。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	申請件数	件	0	1	1		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.192	-	0.100	52	
	臨時職員			-		-	0.140	-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	1,795,146	520	1,508,653	84	
	事業費	115,667		0		-		-	
	合計	474,200	345,254	73	1,795,146	520	1,508,653	84	
財源内訳	国庫支出金			-	100,000	-	2,850,000	2,850	
	県支出金			-		-	2,300,000	-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	474,200	345,254	73	1,695,146	491	-3,641,347	-215	
合計	474,200	345,254	73	1,795,146	520	1,508,653	84		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		改修工事申込件数							
指標説明(式)		改修工事申込件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	3	100.0	3	100.0	9	300.0	
	実績	0	1	-	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	耐震改修工事を行い、地震に対する安全性を確保してもらう	3
効率性	手段の最適性	国、県、市が耐震改修工事費等の助成を行い、住宅の耐震化の向上を図る。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

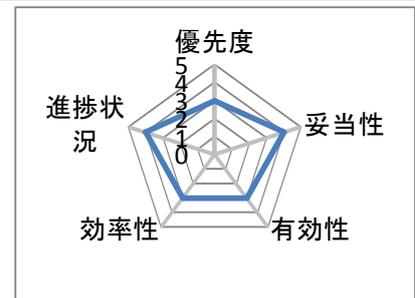
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	処理件数により、コストが増減する

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	作業能率の向上によりコスト縮減を図る。



配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040200		事業の種類	2		
年度	28	事務事業名	再開発住宅管理事業		予算事業名	再開発住宅管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	山崎久司	担当者名	後藤卓	
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		再開発住宅管理事業		再開発住宅管理事業				
根拠法規及び関連法規		相生駅南再開発住宅条例・相生駅南再開発住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生駅南土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した相生駅南再開発住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	再住維持管理費	千円	2977	2392	3273	2324	
	再住家賃収入	千円	19503	17478	17959	16381	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.120	150	
	臨時職員	0.060	0.060	100	0.060	100	0.140	233	
支出内訳	人件費	1,124,173	1,094,954	97	1,107,646	101	1,666,653	150	
	事業費	2,976,943	2,391,993	80	3,272,624	137	2,324,000	71	
	合計	4,101,116	3,486,947	85	4,380,270	126	3,990,653	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,101,116	3,486,947	85	4,380,270	126	3,990,653	91	
	一般財源	0	0	-	0	-	0	-	
合計	4,101,116	3,486,947	85	4,380,270	126	3,990,653	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		再開発住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)／全戸数×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	86	83	96.5	86	103.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		再開発住宅収益率							
指標説明(式)		再開発住宅家賃収入／再開発住宅維持管理費×100 (100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	644	644	100.0	500	77.6	500	100.0	
	実績	655	731	111.6	549	75.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者が退去した後の空部屋を有効利用するため、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	5
効率性	コストの節減	施設の修繕が増加傾向にある中、緊急性等を考慮しながら費用の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

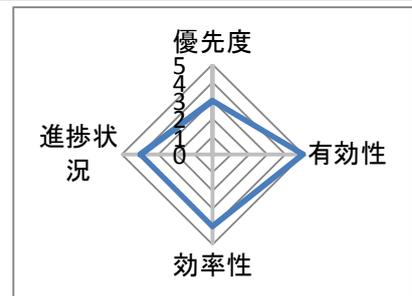
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化により維持管理経費が増加傾向

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	維持管理経費について限られた予算の中で優先度を見極め対応する



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040300		事業の種類	2	
年度	28	事務事業名	市営住宅維持管理事業		予算事業名	公営住宅維持管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	山崎久司		担当者名 後藤卓
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	有		主要事業の指定 無
実施計画事業名		公営住宅整備事業		公営住宅管理事業			
根拠法規及び関連法規		公営住宅法、公営住宅法施行令、公営住宅法施行規則 相生市営住宅条例、相生市営住宅条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に住所地又は勤務地を有する者					
	誰(何)を対象として	住宅に困窮する低額所得者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	低廉な家賃を提供することにより、低額所得者にとって今までの高額家賃から開放され、生活にゆとりが生まれてくる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で提供する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	募集戸数	戸	12	14	12	12	
	応募者数	人	8	3	1	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.560	0.560	100	0.448	80	0.348	78	
	臨時職員	0.184	0.184	100	0.184	100	0.240	130	
支出内訳	人件費	5,144,533	4,998,670	97	4,203,794	84	3,744,753	89	
	事業費	7,453,694	3,786,913	51	4,325,831	114	8,309,000	192	
	合計	12,598,227	8,785,583	70	8,529,625	97	12,053,753	141	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	12,598,227	8,785,583	70	8,529,625	97	12,053,753	141	
	一般財源	0	0	-	0	-	0	-	
合計	12,598,227	8,785,583	70	8,529,625	97	12,053,753	141		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		応募倍率							
指標説明(式)		応募者数/募集戸数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0.7	0.2	28.6	0.08	40.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		市営住宅1戸当たりの維持修繕費							
指標説明(式)		維持修繕費／管理戸数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	59,603	59603	100.0	59603	100.0	46357	77.8	
	実績	54407	25079	46.1	28648	114.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	退去した住宅の修繕を早急に行い、応募者一人当たりの住宅供給度を上げる。	4
	市民サービス	低所得者層への住宅供給	
効率性	コストの節減	老朽化により修繕費が増加傾向	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	長寿命化計画に基づく建て替え等が困難	1

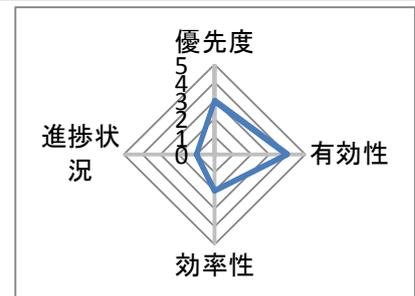
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	長寿命化計画の見直しが必要

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	長寿命化計画の見直しに向け、住宅管理の方向性を検討する



配点	25
総合評価	13

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050101040400	事業の種類	2
年度	28	事務事業名	コミュニティ住宅管理事業
予算事業名	コミュニティ住宅管理事業	優先度	3
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する	担当課長	山崎久司
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る	実施計画への記載	有
		担当者名	後藤卓
		主要事業の指定	無
実施計画事業名	コミュニティ住宅管理事業	コミュニティ住宅管理事業	
根拠法規及び関連法規	コミュニティ住宅条例・コミュニティ住宅条例施行規則		
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者	
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者	
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	那波丘の台住環境整備事業及び土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した那波丘の台コミュニティ住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	コミ住維持管理費	千円	2988	6699	5412	3697
	コミ住家賃収入	千円	27946	27621	26449	26028

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.144	0.144	100	0.152	106	0.120	79	
	臨時職員	0.064	0.064	100	0.064	100	0.140	219	
支出内訳	人件費	1,629,765	1,583,878	97	1,660,594	105	1,666,653	100	
	事業費	2,987,558	6,698,591	224	5,412,049	81	3,697,000	68	
	合計	4,617,323	8,282,469	179	7,072,643	85	5,363,653	76	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,617,323	8,282,469	179	7,072,643	85	5,363,653	76	
	一般財源	0	0	-	0	-	0	-	
合計	4,617,323	8,282,469	179	7,072,643	85	5,363,653	76		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	コミュニティ住宅入居率								
指標説明(式)	入居戸数(各年度末)÷全58戸×100 目標率:H27=97% H28=98%								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	97	97.0	98	101.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		コミュニティ住宅収益率							
指標説明(式)		コミュニティ住宅家賃収入/コミュニティ住宅維持管理費×100 (100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	748	750	100.3	500	66.7	500	100.0	
	実績	935	412	44.1	489	118.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業入居者が退去した後の空部屋を有効利用するために、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	5
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

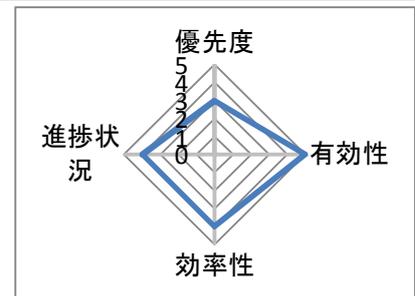
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化により維持管理経費が増加している

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	維持修繕経費について、限られた予算の中で優先順位を見極め対応する。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040500		事業の種類	4					
年度	28	事務事業名	若者定住促進奨励金支給事業		予算事業名	若者定住促進奨励金支給事業					
			優先度								
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち					担当部局名	建設農林部建設管理課		
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	山崎久司		担当者名	後藤卓		
		取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
		実施計画事業名									
		根拠法規及び関連法規	相生市若者定住促進奨励金交付要綱								
事業の目的	誰のために(具体的に)	自己が居住する住宅を取得した40歳未満の若者									
	誰(何)を対象として	若者定住促進奨励金の支出									
	意図(どのような状態にしたいのか)	若者の住宅取得を容易にし、若者世帯の定住を促進する。									

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者に、月1万円の奨励金を60ヶ月間交付(但し、毎年度ごとに交付申請と請求を行い、1年度分を、翌年度4月に振り込みとする。)								
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画				
	交付決定件数	件	281	248	193	145				
	〃 (新規分)	件	0	0						
	〃 (継続分)	件	281	248	193	145				

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.084	100	0.100	119	
	臨時職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.200	40	
支出内訳	人件費	2,224,365	2,233,242	100	2,284,866	102	1,674,793	73	
	事業費	32,520,000	28,550,000	88	20,330,000	71	14,740,000	73	
	合計	34,744,365	30,783,242	89	22,614,866	73	16,414,793	73	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	34,744,365	30,783,242	89	22,614,866	73	16,414,793	73	
合計	34,744,365	30,783,242	89	22,614,866	73	16,414,793	73		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1										
指標説明(式)										
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考	
%	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考	
%	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

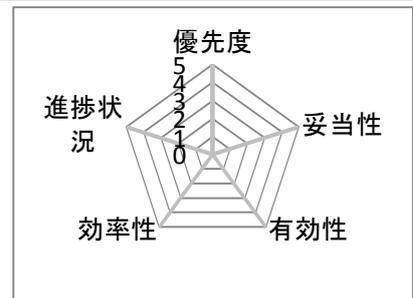
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101040600		事業の種類		4	
年度	28	事務事業名	転入者住宅取得奨励金交付事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	山崎久司	担当者名	後藤卓	
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規			転入者住宅取得奨励金交付要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市外から転入して市内に住宅を新築又は購入した者					
	誰(何)を対象として	転入者住宅取得奨励金の支出					
	意図(どのような状態にしたいのか)	転入及び定住の促進を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者に30万円(満18歳以下の世帯員がいる場合は、1人につき5万円を加算する)の奨励金を交付する。総額は50万円を限度とする。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	交付決定件数	件					

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
	事業費			-		-		-	
	合計	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95	
合計	358,533	345,254	96	348,426	101	330,993	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

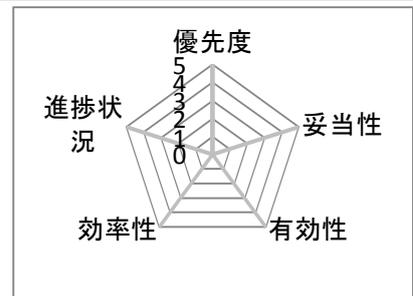
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040700	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	新婚世帯家賃補助金交付事業	予算事業名	新婚世帯家賃補助金交付事業 優先度
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部定住促進室	
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎	担当者名
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規	新婚世帯賃貸住宅家賃補助金交付要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結した婚姻3年以内で40歳未満の若者			
	誰(何)を対象として	民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結した婚姻3年以内で40歳未満の若者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	新婚世帯の市内への定住及び民間賃貸住宅の活用を促進する			

2 事業の概要 Do

実施の概要	対象者に月1万円の補助金を3年間交付(但し、毎年度ごとに交付申請と請求を行い、1年度分を、翌年度4月に振り込みとする。)					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	交付決定件数	件	292	301	278	
	“(新規分)”	件	67	96	61	
	“(継続分)”	件	225	205	217	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.228	0.140	61	0.112	80	0.112	100	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.200	100	
支出内訳	人件費	2,611,077	1,896,534	73	1,713,746	90	1,769,593	103	
	事業費	26,880,000	25,440,000	95	24,280,000	95	28,620,000	118	
	合計	29,491,077	27,336,534	93	25,993,746	95	30,389,593	117	
財源内訳	国庫支出金		20,812,000	-		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	29,491,077	6,524,534	22	25,993,746	398	30,389,593	117	
	合計	29,491,077	27,336,534	93	25,993,746	95	30,389,593	117	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規交付決定件数のうち市外からの転入件数							
指標説明(式)		新規交付決定件数(新規分)のうち市外からの転入件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	50	50	100.0	60	120.0	60	100.0	
	実績	38	56	147.4	41	73.2			
指標名2		新規交付決定件数のうち市外からの転入者数							
指標説明(式)		新規交付決定件数(新規分)のうち市外からの転入者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	-	-	-	130	-	120	92.3	
	実績	83	136	163.9	82	60.3			

【効率性】

指標名1		パンフレット設置依頼数							
指標説明(式)		「11の鍵」のパンフレットを設置依頼した不動産業者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20	30	150.0	25	83.3	25	100.0	
	実績	26	12	46.2	22	183.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
社	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新婚世帯の市内への定住及び民間賃貸住宅の活用が促進でき、活力ある地域づくり、活気あるまちづくりに貢献している。	4
	成果の向上	11の鍵をはじめとした定住施策全体の効果として転入者数が増加していると考えられるが、本制度が転入のきっかけになっており、有効に機能している。	
効率性	執行体制の効率性	毎年、住民票及び戸籍謄本等を添付して申請させることで要件を満たさなくなった者を除外でき、適正な運営とともにコストの節約を図っている。	4
	手段の最適性	制度のPRついて、不動産業者へパンフレット設置を依頼することで、効果的なPRの手段がとれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新規交付者(転入者)の件数は前年度に比べると減少している。	3

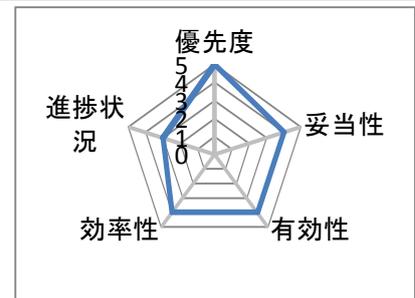
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	他市町で同様の事業が行われているため、差別化が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	対象者や交付期間など、内容等の見直しに向けた検討が必要である。



配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040800		事業の種類	2		
年度	28	事務事業名	定住促進住宅管理事業		予算事業名	定住促進住宅管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	山崎久司	担当者名	後藤卓	
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		佐方定住促進住宅管理事業			佐方定住促進住宅管理事業			
根拠法規及び関連法規		定住促進住宅条例・定住促進住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に定住するために住宅が必要な者						
	誰(何)を対象として	市内に定住するために住宅が必要な者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内に定住するために住宅が必要な者に生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内への定住を促進するために独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より取得した定住促進住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	定住維持管理費	千円	1904	1249	1782		
	定住家賃収入	千円	13469	12990	12279		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.084	100	0.120	143	
	臨時職員	0.064	0.064	100	0.064	100	0.140	219	
支出内訳	人件費	1,164,885	1,134,958	97	1,148,214	101	1,666,653	145	
	事業費	1,904,287	1,248,555	66	1,781,920	143	1,844,000	103	
	合計	3,069,172	2,383,513	78	2,930,134	123	3,510,653	120	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,069,172	2,383,513	78	2,930,134	123	3,510,653	120	
	一般財源	0	0	-	0	-	0	-	
合計	3,069,172	2,383,513	78	2,930,134	123	3,510,653	120		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		定住促進住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末) / 全戸数 × 100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	69.2	69.2	100.0	69.2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		定住促進住宅収益率							
指標説明(式)		定住促進住宅家賃収入／定住促進住宅維持管理費×100(100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	707	1040	147.1	689	66.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者の増加を図るため、随時、公募による募集を行っている。	3
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

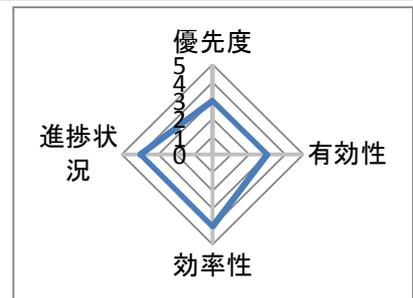
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	入居率の低下

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	随時、公募による募集を行い入居率の向上を図る



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040900		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	定住者住宅取得奨励金交付事業		予算事業名	定住者住宅取得奨励金交付事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部定住促進室			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎		担当者名	北條 麻梨香
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市定住者住宅取得奨励金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	自己が居住する住宅を取得した40歳未満の若者または市外からの転入者					
	誰(何)を対象として	自己が居住する住宅を取得した40歳未満の若者または市外からの転入者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	若者及び転入者の住宅取得を容易にし、定住の促進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		住宅を新築または購入した40歳未満の世帯(若者世帯)については50万円、市外からの転入者については30万円(年齢制限なし)の奨励金を5年に分けて交付する。若者世帯かつ転入者であれば、最大80万円の奨励金となる。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	交付決定件数	件	48	135	205		
	“(新規分)”	件	48	47	70		
	“(継続分)”	件	-	88	135		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.156	0.132	85	0.112	85	0.112	100	
	臨時職員	0.048	0.120	250	0.160	133	0.160	100	
支出内訳	人件費	1,683,861	1,635,158	97	1,609,466	98	1,658,833	103	
	事業費		14,920,000	-	22,670,000	152	32,360,000	143	
	合計	1,683,861	16,555,158	983	24,279,466	147	34,018,833	140	
財源内訳	国庫支出金		9,794,000	-		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,683,861	6,761,158	402	24,279,466	359	34,018,833	140	
	合計	1,683,861	16,555,158	983	24,279,466	147	34,018,833	140	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規交付決定件数のうち市外からの転入件数							
指標説明(式)		新規交付決定件数のうち市外からの転入件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	20	-	30	150.0	30	100.0	
	実績	16	33	206.3	17	51.5			
指標名2		新規交付決定件数のうち市外からの転入者数							
指標説明(式)		新規交付決定件数(新規分)のうち市外からの転入者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	100	-	100	100.0	
	実績	43	107	248.8	57	53.3			

【効率性】

指標名1		パンフレット設置依頼数							
指標説明(式)		「11の鍵」のパンフレットを設置依頼した住宅メーカー数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	45	-	45	100.0	45	100.0	
	実績	45	14	31.1	41	292.9			

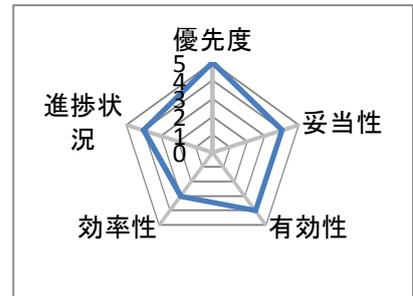
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新規交付件数のうちの転入者の割合は全体の25%程度であるが、新婚世帯家賃補助金からの切り替えの割合は30%となっており、転出抑制になっていると考えられる。	4
	成果の向上	11の鍵をはじめとした定住施策全体の効果として転入者数が増加していると考えられる。若い世代が定住先を選択し、住宅を新築・購入する上では本制度が転入のきっかけになっており、有効に機能している。	
効率性	執行体制の効率性	若者定住促進奨励金事業と転入者住宅取得奨励金を統合したことにより、審査等を迅速かつ効率的に行っている。	3
	手段の最適性	住宅メーカー等へパンフレット設置を依頼することで、効果的なPRが図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	子育て世帯の転入促進、転出抑制に効果がある。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	同様の事業を行う市町が増えており、他市町との差別化を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	対象者や交付金額、交付期間など、内容等の見直しに向けた検討が必要である。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050101041000	事業の種類	5
年度	28	事務事業名	宅地供給促進助成金交付事業
予算事業名	空き家等助成事業	優先度	3
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		
担当部局名	企画総務部定住促進室		
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する	担当課長	松尾 次郎
担当者名	北條 麻梨香		
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る	実施計画への記載	無
主要事業の指定	無		
実施計画事業名			
根拠法規及び関連法規	相生市宅地供給促進助成金交付要綱		
事業の目的	誰のために(具体的に)	市外化区域内に農地等を所有し、住宅分譲地整備のために売却した個人	
	誰(何)を対象として	市外化区域内に農地等を所有し、住宅分譲地整備のために売却した個人	
	意図(どのような状態にしたいのか)	市街化区域内の土地の利活用を促進し、宅地供給の増加を図る	

2 事業の概要 Do

実施の概要	市外化区域内に所有する面積500平方メートル以上の農地等を3区画以上の住宅分譲地整備を行うために売却した個人に対し、1契約ごとに譲渡価額から取得費及び譲渡費用、特別控除額を差し引いた譲渡所得金額の3%を助成する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	宅地供給促進助成金交付決定件数	件	0	0	1	2

3 投入資源

会計区分	一般会計		事業費単位:円					
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員		0.020	-	0.024	120	0.024	100
	臨時職員		0.000	-	0.000	-	0.000	-
支出内訳	人件費		494,894	-	529,266	107	520,593	98
	事業費		0	-	848,800	-	2,000,000	236
	合計		494,894	-	1,378,066	278	2,520,593	183
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源		494,894	-	1,378,066	278	2,520,593	183
合計		494,894	-	1,378,066	278	2,520,593	183	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	整備区画数								
指標説明(式)	助成対象により分譲地として整備された区画数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
区画	目標	-	10	-	10	100.0	10	100.0	
	実績	-	0	-	4	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

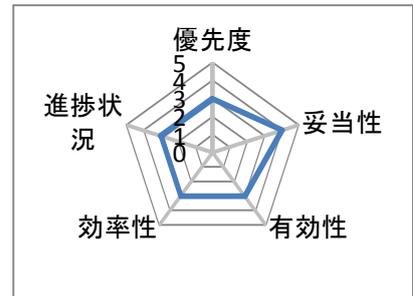
指標名1		分譲地整備届出件数							
指標説明(式)		分譲地整備を目的とする開発届出及び農地転用届出件数(助成対象外含)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	-	5	-	5	100.0	5	100.0	
	実績	9	2	22.2	4	200.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	面積や区画数に制限があり、調査対象にはあがるものの、助成対象に至るケースは少ない。	3
	市民サービス	土地売却益による譲渡所得に係る市民税(3%)相当額を助成することで、有効な土地活用が期待できる。	
効率性	手段の最適性	不動産事業者へはチラシ、所有者へはホームページや広報紙での周知となっており、さらなる周知の必要がある。	3
	執行体制の効率性	開発届出や農業委員会提出議案の確認などにより、対象者への周知を適正に行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	申請者に対して速やかに助成金が執行されている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	所有者への制度周知を図るため、ホームページや広報紙以外での周知方法が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	関係機関との連携により、対象者への確実な制度周知を行う。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101041100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	相生市空き家バンク事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松本 秀文	担当者名	志水 弘樹	
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市空き家情報登録制度「空き家バンク」設置要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者					
	誰(何)を対象として	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の空き家を利活用し、定住を促進する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内における空き家等の有効活用を通じて、都市間の交流拡大及び定住促進による地域の活性化を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	登録物件数	件	3	3	5	5	
	成約件数	件	1	0	1	1	
	利用者登録件数	件	7	7	6	10	
	市内空き家件数	件	-	784	795	800	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.112		0	0.068	-	0.072	106	
	臨時職員	0.072		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,401,269	345,254	25	860,806	249	899,793	105	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,401,269	345,254	25	860,806	249	899,793	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,401,269	345,254	25	860,806	249	899,793	105	
	合計	1,401,269	345,254	25	860,806	249	899,793	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		物件登録件数のうちの成約件数の割合							
指標説明(式)		成約件数÷物件登録件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	50	50	100.0	30	60.0	30	100.0	
	実績	33	0	0.0	20	-			
指標名2		ホームページアクセス数							
指標説明(式)		相生市空き家バンクのホームページへのアクセス件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	-	1,000	-	1,200	120.0	1200	100.0	
	実績	713	1,107	155.3	2451	221.4			

【効率性】

指標名1		登録事業者件数							
指標説明(式)		空き家バンク事業の取引を仲介する登録事業者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
社	目標	-	10	-	10	100.0	10	100.0	
	実績	-	10	-	10	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	登録物件は多少増えたものの、成約には至っていない。	3
	市民サービス	ホームページやチラシを活用し、物件所有者及び利用希望者への情報提供ができています。	
効率性	手段の最適性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部と協定を結び、登録事業者と連携することが事業を進める上で利用者の安心も確保でき、最適な手段である。	3
	執行体制の効率性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部を通して、各登録事業者への通知、依頼等について効率的に行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	制度は浸透してきているものの、登録可能な物件が少なく、成約にまで至っていない。	2

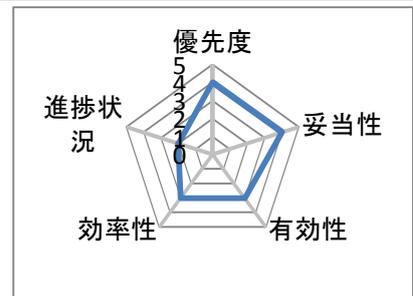
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	利活用可能な物件登録の確保

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	物件所有者へ空き家バンク制度の周知を図るとともに、登録事業者との連携を図る。



配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101041200		事業の種類		5	
年度	28	事務事業名	空き家等助成事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部定住促進室		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規				相生市宅地供給促進助成金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市外化区域内に農地等を所有し、住宅分譲地整備のために売却した個人					
	誰(何)を対象として	市外化区域内に農地等を所有し、住宅分譲地整備のために売却した個人					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市街化区域内の土地の利活用を促進し、宅地供給の増加を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市外化区域内に所有する面積500平方メートル以上の農地等を3区画以上の住宅分譲地整備を行うために売却した個人に対し、1契約ごとに譲渡価額から取得費及び譲渡費用、特別控除額を差し引いた譲渡所得金額の3%を助成する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	宅地供給促進助成金交付決定件数	件	0	0	1	2	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.004	-	0.000	0	
	臨時職員			-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費			-	378,566	-	330,993	87	
	事業費			-		-		-	
	合計			-	378,566	-	330,993	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	378,566	-	330,993	87	
合計			-	378,566	-	330,993	87		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		整備区画数							
指標説明(式)		助成対象により分譲地として整備された区画数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
区画	目標	-	10	-	10	100.0	10	100.0	
	実績	-	0	-	4	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

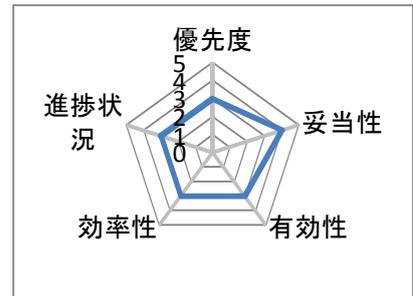
指標名1		対象調査件数							
指標説明(式)		開発届出受付及び農業委員会提出議案を対象とした宅地供給促進助成金の対象調査件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	-	5	-	1	20.0	3	300.0	
	実績	9	2	22.2	4	200.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	面積や区画数に制限があり、調査対象にはあがるものの、助成対象に至るケースは少ない。	3
	市民サービス	土地売却益による譲渡所得に係る市民税(3%)相当額を助成することで、有効な土地活用が期待できる。	
効率性	手段の最適性	不動産事業者へはチラシ、所有者へはホームページや広報紙での周知となっており、さらなる周知の必要がある。	3
	執行体制の効率性	開発届出や農業委員会提出議案の確認などにより、対象者への周知を適正に行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	申請者に対して速やかに助成金が執行されている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	所有者への制度周知を図るため、ホームページや広報紙以外での周知方法が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	関係機関との連携により、対象者への確実な制度周知を行う。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050102010100		事業の種類	1			
年度	28	事務事業名	安室ダム水道用水供給事業	予算事業名	安室ダム水道用水供給事業	優先度	3
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀	
取組み事項	上水道の安定供給と安全強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	安室ダム水道用水供給企業団					
	意図(どのような状態にしたいのか)	将来、高度化する地域住民の生活水準及び宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加となったときのための安定供給及び洪水調節等の治水対策。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	将来の宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加への安定供給及び洪水調節等の治水対策のために建設された安室ダム事業					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	議会	回	2	2	2	2
	担当者会議	回	2	2	2	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.016	0.012	75	0.016	133	0.016	100
	臨時職員	0.004		0				
支出内訳	人件費	492,221	435,038	88	468,986	108	457,393	98
	事業費	65,198,000	61,698,000	95	50,932,000	83	45,281,000	89
	合計	65,690,221	62,133,038	95	51,400,986	83	45,738,393	89
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	65,690,221	62,133,038	95	51,400,986	83	45,738,393	89
合計	65,690,221	62,133,038	95	51,400,986	83	45,738,393	89	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	安室ダム水源開発費								
指標説明(式)	安室ダム水源開発費経費								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	16,610	15,504	93.3	14,306	92.3	11,486	80.3	
	実績	16,610	15,504	93.3	14,306	92.3			
指標名2	安室ダム水道用水供給量								
指標説明(式)	水道用水供給量								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
m ³	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	将来的にもダムを保有する限り機器更新などへの対応が必要である。	2
	関係(根拠)法令等から見た効果	義務的経費であり、予定どおり償還する以外ない。	
効率性	執行体制の効率性	事務については、安室ダム水道用水供給企業団事務局が行っており、効率的である。	2
	コストの節減	償還額が減少したことによる減であり、根本的には変わっていない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水需要が見込まれない状況下であり、供用開始されていない。	1

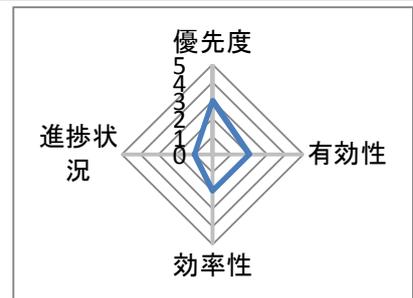
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	水需要が見込まれないなかで、償還のみが残った状況である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	新たな費用負担が発生しないように県と連携を図る。



配点	25
総合評価	11

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102010200		事業の種類		3	
年度	28	事務事業名	西播磨水道企業団連絡調整事業	予算事業名	西播磨水道企業団事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		上水道の安定供給と安全強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	西播磨水道企業団					
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨水道企業団事業からの給水を受け、清浄な水を安定供給する。市民への水道用水を供給する企業団と市との連絡調整を行うため必要。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨水道企業団との連絡調整を行う。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	有収水量	m3	4,075,177	4,083,841	3,964,761	4,000,000
	給水人口	人	30,460	30,380	30,209	30,200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.016	0.012	75	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員	0.004		0		-		-	
支出内訳	人件費	492,221	435,038	88	438,846	101	425,793	97	
	事業費	39,475,000	1,208,000	3	1,143,000	95	1,135,000	99	
	合計	39,967,221	1,643,038	4	1,581,846	96	1,560,793	99	
財源内訳	国庫支出金	38,313,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,654,221	1,643,038	99	1,581,846	96	1,560,793	99	
合計	39,967,221	1,643,038	4	1,581,846	96	1,560,793	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水道議会開催数							
指標説明(式)		水道議会(定例会及び臨時)の開催数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		有収水量							
指標説明(式)		水道料金徴収の対象となった水量							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
m3	目標	-	-	-	4,000,000	-	4,000,000	100.0	
	実績	4,075,177	4,083,841	100.2	3,964,761	97.1			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	水質管理された水が安定して供給されている。	3
効率性	執行体制の効率性	現状は、たつの市と広域で運営する西播磨水道企業団との連絡調整という部分であり、効率的に実施できている。	3
	コストの節減	臨時的な負担金等の発生がなかったため、例年並みの歳出規模となっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	上水道事業としては、広域運営において順調に進んでいる。	4

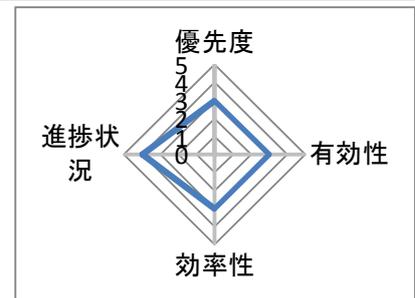
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	現状の連絡調整の事務としては、特に課題はない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	例年どおり効率的に実行する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102020100		事業の種類	6		
年度	28	事務事業名	下水道整備事業		予算事業名	下水道整備事業	優先度	5
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る			担当課長	山崎 久司	担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道施設の整備を進める			実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名		公共下水道整備事業						
根拠法規及び関連法規		都市計画法・下水道法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民						
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	下水道普及率を100%にする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		公共下水道の未整備地の整備					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	整備延長(汚水)	m	23	48	0	0	
	公共樹設置	箇所	32	36	34	30	
	整備延長(雨水)	m	36	70	204	180	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.432	0.432	100	0.404	94	0.396	98	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,705,669	3,577,478	97	3,392,566	95	3,459,393	102	
	事業費	77,604,498	103,218,524	133	199,483,448	193	224,463,000	113	
	合計	81,310,167	106,796,002	131	202,876,014	190	227,922,393	112	
財源内訳	国庫支出金	32,720,000	40,040,000	122	90,165,000	225	106,858,000	119	
	県支出金			-		-		-	
	市債	29,400,000	36,000,000	122	81,100,000	225	96,100,000	118	
	その他	3,025,970	2,176,000	72	728,000	33	1,497,000	206	
	一般財源	16,164,197	28,580,002	177	30,883,014	108	23,467,393	76	
合計	81,310,167	106,796,002	131	202,876,014	190	227,922,393	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		普及率							
指標説明(式)		公共下水道区域の人口普及率							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
全体進捗率	目標	99.9	99.9	100.0	99.9	100.0	99.9	100.0	
	実績	99.9	99.9	100.0	99.9	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

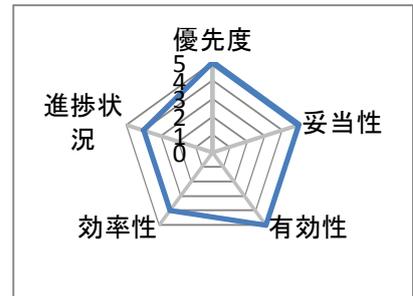
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	污水管の整備はほぼ終焉を迎えているが、浸水対策としての雨水管の整備が急務となっている。	5
効率性	コストの節減	污水整備は計画区域内で、住宅等が無く、整備する必要の無い区域は工事を先送りし、経費の節減を図り、雨水整備は新技術、新工法を採用しコストの節減を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	污水整備は事業計画に対して人口比ではほぼ終焉を迎えているが、浸水対策としての雨水管の整備が急務となっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	未整備区域の計画把握と経費の削減を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	情報収集と整備工法の低コスト型を検討する。

配点	32.5
総合評価	30.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0501020200		事業の種類	7	
年度	28	事務事業名	下水道施設長寿命化事業		予算事業名	下水道施設長寿命化事業 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道施設の整備を進める		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法・下水道法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	下水処理施設の長寿命化計画を策定し、改築更新により、施設の延命化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生下水管理センターの長寿命化計画策定及び改築更新工事の実施。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	機能診断	式				1	
	長寿命化計画策定	式				1	
	実施設計	式	1	1			
	電気・機械設備改築更新	式	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.256	0.256	100	0.232	91	0.224	97	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,342,021	2,260,646	97	2,096,546	93	2,100,593	100	
	事業費	153,095,840	492,310,560	322	329,098,672	67	366,824,000	111	
	合計	155,437,861	494,571,206	318	331,195,218	67	368,924,593	111	
財源内訳	国庫支出金	80,240,000	278,860,000	348	177,700,000	64	192,500,000	108	
	県支出金			-		-		-	
	市債	65,100,000	205,200,000	315	132,900,000	65	155,900,000	117	
	その他			-		-		-	
	一般財源	10,097,861	10,511,206	104	20,595,218	196	20,524,593	100	
	合計	155,437,861	494,571,206	318	331,195,218	67	368,924,593	111	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		契約							
指標説明(式)		日本下水道事業団に委託し、事業を実施する。							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
契約	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

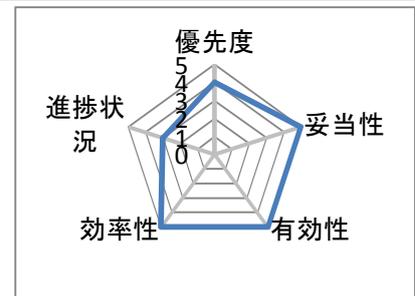
指標名1		事業費							
指標説明(式)		交付金対象事業として実施することにより、コスト節減を図る。							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
交付金	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業に精通している日本下水道事業団に委託することにより、相生下水管理センターの改築更新事業に着手することができた。	5
効率性	コストの節減	長寿命化計画を策定し、計画的に事業を実施することで、コストの節減を図り、交付金の対象となる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせ事業を実施しているが当初計画より交付金が減少し計画通りに事業が進まない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせて事業実施しているが、当初計画より交付金額が減少し、計画通りに事業が進まない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせ、緊急性の高いものから順次整備を行う。

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102030100		事業の種類	7	
年度	28	事務事業名	農業集落排水施設改築更新事業		予算事業名	農業集落排水施設改築更新事業	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水施設などの整備を進める		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	参加市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水施設の機能診断を行い最適整備構想を作成し、機能強化等により施設の延命化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水施設の最適整備構想の作成及び機能強化工事の実施。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	機能診断	式					
	最適整備構想	式					
	機能強化工事計画策定	式	1				
機能強化工事	式		1	1	1		

3 投入資源

会計区分 農集特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.232	0.232	100	0.224	97	0.224	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,156,069	2,081,078	97	2,036,266	98	2,100,593	103	
	事業費	13,176,000	43,522,920	330	35,654,840	82	58,027,000	163	
	合計	15,332,069	45,603,998	297	37,691,106	83	60,127,593	160	
財源内訳	国庫支出金	6,588,000	21,761,000	330	17,500,000	80	29,000,000	166	
	県支出金			-		-		-	
	市債	5,900,000	19,500,000	331	15,700,000	81	26,100,000	166	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,844,069	4,342,998	153	4,491,106	103	5,027,593	112	
合計	15,332,069	45,603,998	297	37,691,106	83	60,127,593	160		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		契約							
指標説明(式)		兵庫県土地改良事業団体連合会に委託し、事業を実施する。							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
契約	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

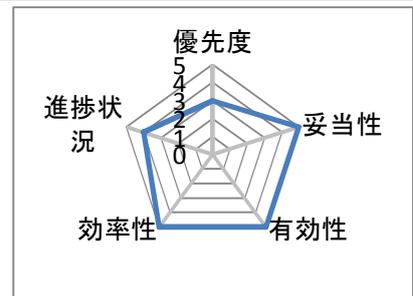
指標名1		事業費							
指標説明(式)		農山漁村地域整備交付金事業として実施することにより、コスト節減を図る。							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
交付金	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業に精通している兵庫県土地改良事業団体連合会に委託することにより、農業集落排水施設の改築更新事業に着手することができた。	5
効率性	コストの節減	最適整備構想を策定し、計画的に事業を実施することで、コストの節減を図り交付金の対象となる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせ事業を実施しているが、当初計画より交付金が減少し計画通りに事業が進まない。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせて事業実施しているが、当初計画より交付金額が減少し、計画通りに事業が進まない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせ、緊急性の高いものから順次整備を行う。

配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102030200		事業の種類	6		
年度	28	事務事業名	農業集落排水整備事業		予算事業名	農業集落排水整備事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	松本 好弘	
取組み事項		農業集落排水施設などの整備を進める		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		農業集落排水整備事業						
根拠法規及び関連法規		相生市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例 相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設並びに管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道区域以外の市民						
	誰(何)を対象として	公共下水道区域以外の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	早期に100%生活排水の水洗化整備を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等に新規加入時する住宅等に公共枿を設置。 未整備地で、下水管渠築造工事に多大な費用を要する住宅等に、戸別合併処理浄化槽を設置する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	戸別合併浄化槽設置	件	0	2	1	1
	新規加入公共枿設置	件	2	0	0	1

3 投入資源

		会計区分	農集特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.196	0.196	100	0.196	100	0.196	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,877,141	1,811,726	97	1,825,286	101	1,879,393	103	
	事業費	17,349,876	21,916,224	126	2,523,960	12	10,020,000	397	
	合計	19,227,017	23,727,950	123	4,349,246	18	11,899,393	274	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-	4,200	-	
	その他	300,000	1,386,000	462	480,000	35	3,108	1	
	一般財源	18,927,017	22,341,950	118	3,869,246	17	11,892,085	307	
合計	19,227,017	23,727,950	123	4,349,246	18	11,899,393	274		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

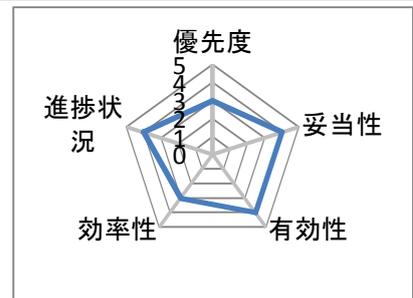
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	新規加入申請に対応しており、市民サービスに込えている。	4
効率性	手段の最適性	公共樹の設置に関して、合理的な工法を選択している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業としては、完了している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	新規加入申請者に対し速やかに対応できる体制を整える。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今年度は加入実績はなかったが、速やかに対応できる体制を維持する。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040100		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	下水道管理事業	予算事業名	下水道管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活排水による汚濁負荷を低減し、公共水域の水質保全を図るため、総括管理を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		施設台帳の整備等総括管理事務を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	下水道台帳整備	式	1	1	1	1	
	下水道調査報告	式	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.344	0.344	100	0.312	91	0.312	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,023,845	2,919,062	97	2,699,346	92	2,795,793	104	
	事業費	37,221,886	34,901,750	94	26,830,858	77	28,260,000	105	
	合計	40,245,731	37,820,812	94	29,530,204	78	31,055,793	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	37,797,399	34,901,750	92	26,590,858	76	28,020,000	105	
	一般財源	2,448,332	2,919,062	119	2,939,346	101	3,035,793	103	
合計	40,245,731	37,820,812	94	29,530,204	78	31,055,793	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	常に最新の状態に台帳を整備することができる。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令にそった成果が概ね得られた。	
効率性	手段の最適性	専門業者に委託することにより効率が図られている。	3
	執行体制の効率性	速やかな対応が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	下水整備に合わせて、進捗している。	4

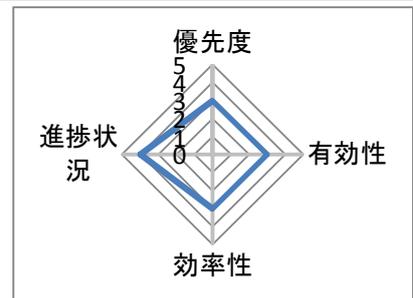
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	下水道台帳と現地に差異があるところがある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	台帳の精査が必要である。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040200		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	賦課徴収事業(下水)		予算事業名	賦課徴収事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司		担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		下水道法・都市計画法・相生市下水道条例・相生市下水道事業受益者負担金条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道事業受益者						
	誰(何)を対象として	公共下水道事業受益者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	条例に則り、公共下水道受益者から使用料及び負担金の応分の費用を徴収する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		使用料徴収事務委託により、経費の節減を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	下水道使用料徴収	式	1	1	1	1	
	受益者負担金徴収	式	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.312	0.312	100	0.288	92	0.288	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,775,909	2,679,638	97	2,518,506	94	2,606,193	103	
	事業費	24,978,044	24,973,268	100	25,163,705	101	25,582,000	102	
	合計	27,753,953	27,652,906	100	27,682,211	100	28,188,193	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	24,402,531	24,973,268	102	25,163,705	101	25,582,000	102	
	一般財源	3,351,422	2,679,638	80	2,518,506	94	2,606,193	103	
合計	27,753,953	27,652,906	100	27,682,211	100	28,188,193	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		下水道使用料徴収件数							
指標説明(式)		徴収件数/徴収対象件数×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.18	98.31	100.1	98.32	100.0			
指標名2		受益者負担金賦課件数(猶予取消し分含む)							
指標説明(式)		負担金徴収件数/負担金徴収対象件数×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	81.8	100	122.2	100	100.0			

【効率性】

指標名1		下水道使用料徴収金額率							
指標説明(式)		徴収金額／徴収対象金額×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	97.89	97.88	100.0	98.28	100.4			
指標名2		受益者負担金徴収金額率							
指標説明(式)		徴収金額／賦課金額×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	95.04	100	105.2	100	100.0			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	使用料金徴収を西播磨水道企業団に委託することにより、上水道使用料と一括徴収することができ、徴収率の高率維持につながっている。	5
	成果の向上	下水道受益者負担金は、農業委員会と連携をとり、負担金徴収猶予となっている農地の宅地化の情報を基に、賦課徴収している。	
効率性	コストの節減	使用料金徴収を西播磨水道企業団に委託することにより、上水道使用料と一括徴収することができ、コストを節減している。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	徴収事業は目標に近い率を維持している。	4

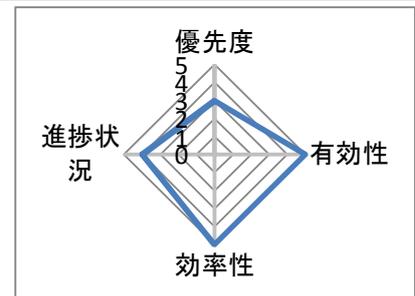
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	無断転居による滞納者への対応(所在確認)について、苦慮している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	使用料金徴収の委託先である水道企業団と連携し、居住していた物件の管理者等に積極的に紹介を行い、居所、連絡先等の把握に努めた。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040300		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	排水設備管理事業(下水)		予算事業名	排水設備管理事業 優先度 3		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司		担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例・相生市下水道排水設備指定工事店規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民						
	誰(何)を対象として	排水設備指定工事店						
	意図(どのような状態にしたいのか)	確認審査及び検査を行うことにより、施工の均一性及び見積の適正化を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		下水道排水設備指定工事店の指定を行い、排水設備工事の適正な施工を確保する。排水設備等の設置申請を確認し、排水設備等工事の完了検査を行う。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	確認検査	件	80	124	147	100		

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.184	0.184	100	0.184	100	0.184	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,784,165	1,721,942	97	1,734,866	101	1,784,593	103	
	事業費	152,882	198,811	130	164,699	83	259,000	157	
	合計	1,937,047	1,920,753	99	1,899,565	99	2,043,593	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	152,882	198,811	130	164,699	83	259,000	157	
	一般財源	1,784,165	1,721,942	97	1,734,866	101	1,784,593	103	
合計	1,937,047	1,920,753	99	1,899,565	99	2,043,593	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水設備件数							
指標説明(式)		排水設備件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	80	124	155.0	147	118.5	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		排水設備確認審査・検査コスト							
指標説明(式)		当該年度支出額／排水設備確認審査・検査件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	24213	15489	64.0	13177	85.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	設備工事の品質向上がみられた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	概ね基準どおり施工されている。	
効率性	コストの節減	概ね現状維持。	3
	執行体制の効率性	概ね現状維持。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

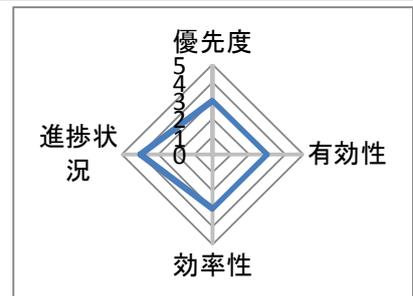
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施工管理に向上の余地がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	確認申請時及び完了検査時に指導を徹底する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040400	事業の種類	2
年度	28	事務事業名	汚水処理施設維持管理事業	予算事業名	汚水処理施設維持管理事業
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		担当者名	松本 好弘
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	利用者			
	誰(何)を対象として	利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	汚水処理の維持管理を適正に行い、利用者が常に安心して下水道を使用できるようにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		脱水汚泥等の処分及び下水管渠の清掃。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	汚泥処分	トン	2212	2090	2050	2370
	管渠清掃	m	12163	9633	9110	
	管渠調査	m	0	0	0	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.252	0.252	100	0.232	92	0.224	97	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,311,029	2,230,718	97	2,096,546	94	2,100,593	100	
	事業費	55,844,232	54,844,895	98	53,483,630	98	60,113,000	112	
	合計	58,155,261	57,075,613	98	55,580,176	97	62,213,593	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	55,844,230	54,844,895	98	53,483,630	98	60,113,000	112	
	一般財源	2,311,031	2,230,718	97	2,096,546	94	2,100,593	100	
	合計	58,155,261	57,075,613	98	55,580,176	97	62,213,593	112	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		汚泥処分のリサイクル率							
指標説明(式)		リサイクル施設搬入汚泥量 / 発生汚泥量 × 100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		脱水汚泥のセメント原料化施設への搬入率の向上							
指標説明(式)		汚泥のセメント原料化施設搬入量／発生汚泥量×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	97.4	97.4	100.0	97.4	100.0	97.4	100.0	
	実績	94.6	95.1	100.5	90.1	94.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	脱水汚泥のリサイクル率100%を維持できている。	4
効率性	コストの節減	汚泥処分費の安価な施設であるセメント工場での処分ができている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

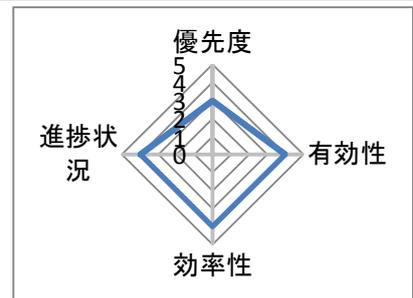
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	汚泥の有効活用を検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	現在、セメント原料化と炭化処分を行っているが、堆肥化の方策を検討している。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102040500		事業の種類		2	
年度	28	事務事業名	雨水処理施設維持管理事業	予算事業名	雨水処理施設維持管理事業	優先度	4
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名 建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	住民					
	誰(何)を対象として	住民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水区域内の住居等を浸水から守る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		雨水ポンプ場の適正な維持管理を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	ポンプ場修繕工事	式	1	1	1	1	
	し渣搬出業務委託	式	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.252	0.252	100	0.232	92	0.224	97	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,311,029	2,230,718	97	2,096,546	94	2,100,593	100	
	事業費	15,419,170	14,954,412	97	18,713,718	125	20,138,000	108	
	合計	17,730,199	17,185,130	97	20,810,264	121	22,238,593	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,730,199	17,185,130	97	20,810,264	121	22,238,593	107	
合計	17,730,199	17,185,130	97	20,810,264	121	22,238,593	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		浸水戸数							
指標説明(式)		排水区域内の浸水戸数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	ポンプ場の機能により浸水被害を防ぐことができた。	5
効率性	手段の最適性	点検業務を適正に行うことにより、緊急時対応もできた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	長寿命化の検討が必要。	3

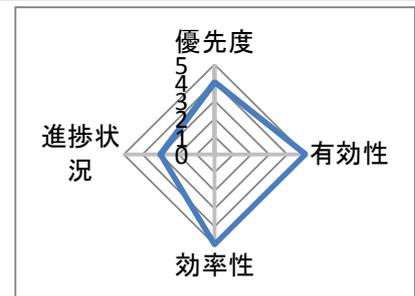
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	設備の老朽化に対する検討が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	最も老朽化の進んでいる那波ポンプ場の更新計画を策定予定。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040600		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	下水道施設包括維持管理事業		予算事業名	下水道処理施設包括維持管理事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司		担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		公共下水道維持管理事業						
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	利用者及び市内企業						
	誰(何)を対象として	利用者及び市内企業						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生下水管理センターの運転及び維持管理事業を民間会社に委託し、コストの節減と、民間のノウハウを生かした水処理を適正に行った放流水により相生湾の水質を保全する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生下水管理センター及び汚水ポンプ場の運転・維持管理、修繕業務。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	包括委託	式	1	1	1	1		

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.180	0.180	100	0.160	89	0.152	95	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,753,173	1,692,014	97	1,554,026	92	1,531,793	99	
	事業費	240,207,120	248,313,600	103	243,313,200	98	248,314,000	102	
	合計	241,960,293	250,005,614	103	244,867,226	98	249,845,793	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	240,207,120	248,313,600	103	237,376,000	96	235,820,000	99	
	一般財源	1,753,173	1,692,014	97	7,491,226	443	14,025,793	187	
合計	241,960,293	250,005,614	103	244,867,226	98	249,845,793	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		放流水質基準達成率							
指標説明(式)		要求水準達成日数/365日 × 100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		電力量の節減							
指標説明(式)		各年度電力量/H21年度電力量×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	95	95	100.0	95	100.0	95	100.0	
	実績	94.3	93.2	98.8	89.7	96.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	民間企業のノウハウと不断の努力により、要求水準どおりの放流水となっている。	4
効率性	執行体制の効率性	民間企業に包括委託することによりコストの削減を図る	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

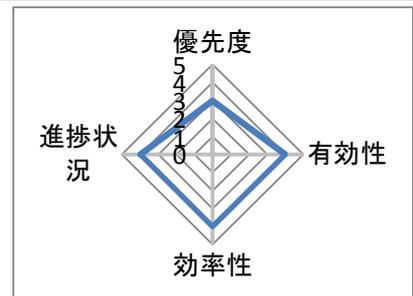
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	化学工場からの排水処理。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	化学工場・委託業者・市の三者協議が必要である。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040700		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	水酸化促進事業(下水)		予算事業名	水酸化促進事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司		担当者名	松本 好弘
取組み事項	公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市水洗便所等改造資金貸付条例、相生市水洗便所等改造資金助成金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境衛生の向上を図るため、汲み取り便所の水洗化及び排水設備の設置を促進する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		借入の申請を受理して、貸付の可否及び貸付額を決定し、市の工事検査に合格した後に貸付金を交付する。後、借受人から、償還期限までに元金及び利子を市に償還させる。また、生活保護受給者で水洗化を希望する世帯には工事費用を助成する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	改造資金貸付	件	0	0	0	1	
	改造資金助成	件	0	0	0	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.244	0.244	100	0.244	100	0.244	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,249,045	2,170,862	97	2,186,966	101	2,258,593	103	
	事業費	21	0	0	0	-	2,001,000	-	
	合計	2,249,066	2,170,862	97	2,186,966	101	4,259,593	195	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-	369,000	-	
	一般財源	2,249,066	2,170,862	97	2,186,966	101	3,890,593	178	
合計	2,249,066	2,170,862	97	2,186,966	101	4,259,593	195		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		貸付件数							
指標説明(式)		貸付件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

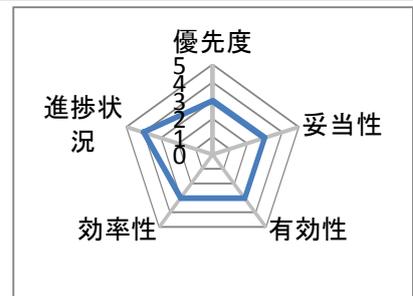
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請件数は予測以下であるが、制度の活用により水洗化が困難だった世帯へ早期の水洗化が可能となった。	3
	市民サービス	水洗化されることで周辺の住環境の改善や公共用水域の水質向上につながっている。	
効率性	執行体制の効率性	下水道接続により、周辺の住環境の改善による市民生活の向上や、使用料収入の確保による下水道経営の安定化など、多方面に良い効果を与えている	3
	執行体制の効率性	窓口で直接対面により本人確認の上受付処理をしており、公正さを確保している。また、口座振替による償還金の收受を行うことで効率性を向上させている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水洗化普及が進んだことで件数は減少しているが、貸付による支援を受けて水洗化を行いたいという需要に応える事業方針はおおむね満たしている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	未収金が発生している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	分割納付回数の柔軟な対応が必要である。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040800		事業の種類		
年度	28	事務事業名	公営企業会計移行事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	松本 好弘	
取組み事項	公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載			主要事業の指定	
実施計画事業名	公営企業会計移行事業						
根拠法規及び関連法規	地方公営企業法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市下水道事業					
	誰(何)を対象として	相生市下水道会計					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の下水道事業における経営の健全化及び財務状況の明確化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	地方公営企業法を一部適用するに当たり必要な事務手続きの支援及び固定資産台帳の整備を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	基本計画書の作成	式			1	
	資産調査業務	式			1	1
	資産評価業務	式				1
	法適用以降支援業務	式				

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.348	-	0.316	91	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	2,970,606	-	2,827,393	95	
	事業費			-		-		-	
	合計			-	2,970,606	-	2,827,393	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	2,970,606	-	2,827,393	95	
	合計			-	2,970,606	-	2,827,393	95	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	決算及び資産調査を行い、決算との調整を行い資産評価する必要がある。	4
効率性	手段の最適性	資料のない資産を評価する場合の資産評価方法を検討する必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

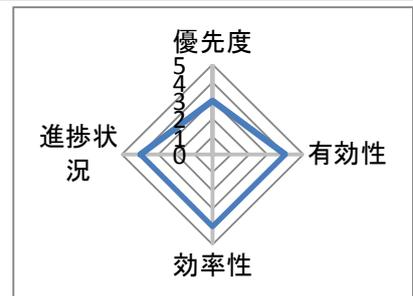
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050100		事業の種類	9	
年度	28	事務事業名	農業集落排水管理事業		予算事業名	農業集落排水管理事業 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	参加市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水処理施設等を適正に運営し、消費税申告を適正に行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水処理施設の総括管理事務及び公課費(消費税)に関する事務					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	施設総括事務	式	1	1	1	1	
	消費税	式	1	1	1	1	

3 投入資源

		会計区分	農集特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.244	0.244	100	0.240	98	0.240	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,249,045	2,170,862	97	2,156,826	99	2,226,993	103	
	事業費	23,291,584	26,556,157	114	16,436,356	62	16,731,000	102	
	合計	25,540,629	28,727,019	112	18,593,182	65	18,957,993	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	5,413,452	3,811,000	70	16,436,356	431	15,000	0	
	一般財源	20,127,177	24,916,019	124	2,156,826	9	18,942,993	878	
合計	25,540,629	28,727,019	112	18,593,182	65	18,957,993	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

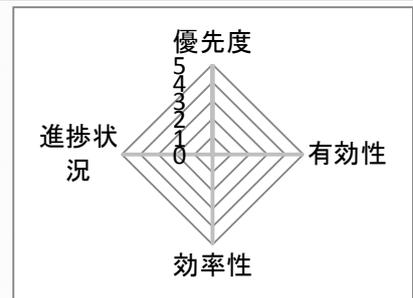
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度		
	関係(根拠)法令等から見た効果		
効率性	コストの節減		
	執行体制の効率性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050200		事業の種類	1				
年度	28	事務事業名	賦課徴収事業(農集)		予算事業名	賦課徴収事業		優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課				
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る			担当課長	山崎 久司		担当者名	松本 好弘	
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設の設置並びに管理に関する条例								
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の受益者								
	誰(何)を対象として	事業区域内の受益者								
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水処理施設使用料の徴収及び新規加入金を100%徴収する。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		排除汚水量を認定し、排水処理施設使用料を徴収する。 新規加入者に対して、加入金を徴収する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	徴収事務	式	1	1	1	1
	新規加入	件	2	1	0	1

3 投入資源

会計区分		農集特別会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.172	0.172	100	0.168	98	0.168	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,691,189	1,632,158	97	1,614,306	99	1,658,193	103	
	事業費	3,410,548	3,432,212	101	3,455,714	101	3,526,000	102	
	合計	5,101,737	5,064,370	99	5,070,020	100	5,184,193	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,410,548	3,432,212	101	3,455,714	101	3,405,000	99	
	一般財源	1,691,189	1,632,158	97	1,614,306	99	1,779,193	110	
合計	5,101,737	5,064,370	99	5,070,020	100	5,184,193	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水処理施設使用料徴収件数							
指標説明(式)		徴収件数/徴収対象件数×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.48	98.48	100.0	98.46	100.0			
指標名2		排水処理施設使用料徴収金額							
指標説明(式)		徴収金額/徴収対象金額×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	99.06	99.10	100.0	99.08	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	使用料徴収について西播磨水道企業団に徴収事務委託をすることにより、徴収率の高率維持につながっている。	5
効率性	コストの節減	使用料徴収について西播磨水道企業団に徴収事務委託をすることにより、上水道使用料と一括徴収することができ、コストを節減している。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	徴収事業は目標に近い率を維持している。	4

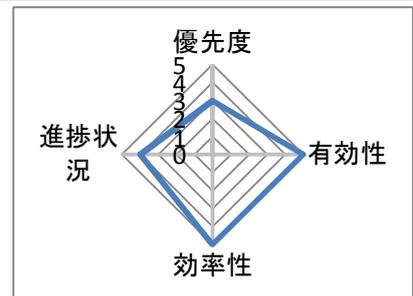
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	無断転居による滞納者への対応(所在確認)について、苦慮している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	使用料徴収の委託先である水道企業団と連携し、居住していた物件の管理者等に積極的に紹介を行い、居所、連絡先等の把握に努めた。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050300		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	排水設備管理事業(農集)		予算事業名		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	排水設備指定工事店					
	意図(どのような状態にしたいのか)	確認審査及び検査を行うことにより、施工の均一性及び見積の適正化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		下水道排水設備指定工事店の指定を行い、排水設備工事の適正な施工を確保するため、事務連絡会を開催し、排水設備等の設置申請を確認し、排水設備等工事の完了検査を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	確認検査	件	5	15	7	20	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.124	0.124	100	0.124	100	0.124	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,319,285	1,273,022	96	1,282,766	101	1,310,593	102	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,319,285	1,273,022	96	1,282,766	101	1,310,593	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,319,285	1,273,022	96	1,282,766	101	1,310,593	102	
	合計	1,319,285	1,273,022	96	1,282,766	101	1,310,593	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水設備件数							
指標説明(式)		排水設備件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	7	15	214.3	7	46.7	\	\	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		排水設備確認審査・検査コスト							
指標説明(式)		当該年度支出額／排水設備確認審査・検査件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	188469	84868	45.0	188469	222.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	排水設備工事の品質向上がみられた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	概ね基準どおり施工されている。	
効率性	コストの節減	概ね現状維持。	3
	執行体制の効率性	概ね現状維持。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

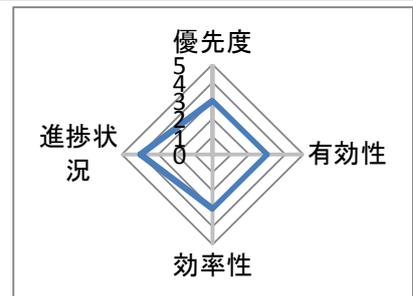
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施工管理に向上の余地がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	確認申請時及び完了検査時に指導を徹底する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050400	事業の種類	2
年度	28	事務事業名	農業集落排水施設維持管理事業	予算事業名	農業集落排水施設維持管理事業
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		担当者名	松本 好弘
実施計画事業名		農業集落排水維持管理事業		実施計画への記載	有
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設の設置並びに管理に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民			
	誰(何)を対象として	参加市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水施設等を適正に維持管理運営し、公共用水域を保全する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等処理施設の維持管理業務。濃縮汚泥の運搬。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	維持修繕工事	件	9	18	11	10
	施設の維持管理委託	件	1	1	1	1
	汚泥運搬業務	m ³	3279	3420	3439	3300
	管渠等の清掃	m	2411	1565	1722	2000

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.236	0.236	100	0.228	97	0.228	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,187,061	2,111,006	97	2,066,406	98	2,132,193	103	
	事業費	71,088,577	70,977,299	100	69,915,958	99	73,495,000	105	
	合計	73,275,638	73,088,305	100	71,982,364	98	75,627,193	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	71,088,577	70,977,299	100	69,915,958	99	73,495,000	105	
	一般財源	2,187,061	2,111,006	97	2,066,406	98	2,132,193	103	
	合計	73,275,638	73,088,305	100	71,982,364	98	75,627,193	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排出汚泥のリサイクル率							
指標説明(式)		リサイクル処理施設への搬出量/濃縮汚泥搬出量×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		汚泥排出量							
指標説明(式)		濃縮汚泥搬出量/処理水量×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0.68	0.68	100.0	0.68	100.0	0.68	100.0	
	実績	0.76	0.80	105.3	0.81	101.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	濃縮汚泥は、下水管理センターで公共下水道の汚泥と混合し、脱水汚泥としてリサイクル施設へ搬出している。	4
効率性	手段の最適性	汚泥排出量を適正に行うことにより水質を維持している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

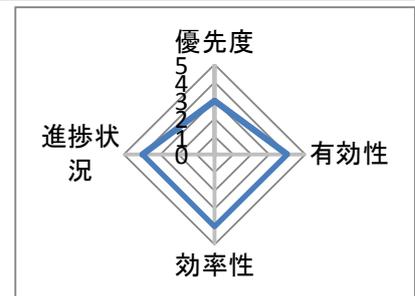
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	公共下水道との統合を推進する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	現在進行中である機能強化工事の進捗状況に合わせ、順次に統合施設を検討していく。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102050500		事業の種類		2	
年度	28	事務事業名	個別排水処理施設維持管理事業	予算事業名	個別排水処理施設維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益者					
	誰(何)を対象として	受益者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	戸別合併処理浄化槽を適正に管理し、公共用水域の水質を保全する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		浄化槽維持管理業者に清掃点検業務を委託する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	浄化槽維持管理委託	基	15	15	16	18	

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.100	100	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,133,333	1,093,454	96	1,101,926	101	1,120,993	102	
	事業費	868,500	852,000	98	854,376	100	1,106,000	129	
	合計	2,001,833	1,945,454	97	1,956,302	101	2,226,993	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	868,500	852,000	98	1,101,926	129	1,106,000	100	
	一般財源	1,133,333	1,093,454	96	854,376	78	1,120,993	131	
合計	2,001,833	1,945,454	97	1,956,302	101	2,226,993	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水質基準							
指標説明(式)		浄化槽水質基準適合数/浄化槽数×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	全ての浄化槽において、水質基準が満たされていた。	3
効率性	手段の最適性	専門的資格のある浄化槽維持管理業者により適正に清掃点検がされている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通り。	4

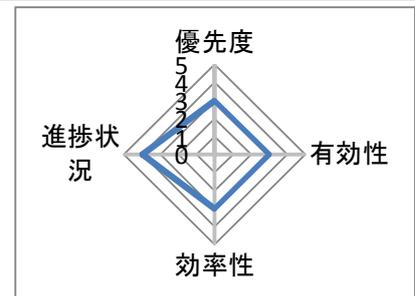
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050600		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	水洗化促進事業(農集)		予算事業名	水洗化促進事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	山崎 久司		担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市水洗便所等改造資金貸付条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民						
	誰(何)を対象として	参加市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境衛生の向上を図るため、くみ取り便所の水洗化及び排水設備の設置を促進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		借入の申請を受理して、貸付の可否及び貸付額を決定し、市町の工事検査に合格した後に貸付金を交付する。後、借受人から、償還期限までに元金及び利子を市に償還させる。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	改造資金貸付	件	1	0	0	1	

3 投入資源

		会計区分	農集特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.108	0.108	100	0.104	96	0.104	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,195,317	1,153,310	96	1,132,066	98	1,152,593	102	
	事業費	700,032	64	0	0	0	701,000	-	
	合計	1,895,349	1,153,374	61	1,132,066	98	1,853,593	164	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	88,196	0	0	0	-	446,000	-	
	一般財源	1,807,153	1,153,374	64	1,132,066	98	1,407,593	124	
合計	1,895,349	1,153,374	61	1,132,066	98	1,853,593	164		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		貸付件数							
指標説明(式)		貸付件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

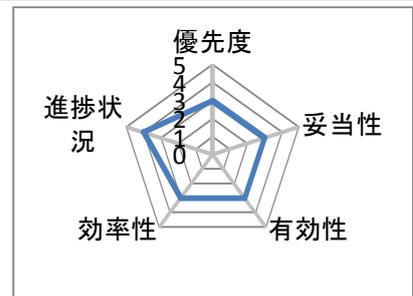
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	水洗化普及がすすんだことで件数は減少傾向にあり、本年度は申請がないが、資金的な負担を軽減して水洗化を促進する成果はあげている。	3
	市民サービス	水洗化されることで周辺の住環境の改善や公共水域の水質向上につながっている。	
効率性	手段の最適性	農業集落排水等への接続により、周辺の住環境の改善による市民生活の向上や、使用料収入の確保による特別会計経営の安定化など、多方面に良い効果を与えている。	3
	執行体制の効率性	窓口で直接対面により本人確認の上受付処理をしており、公正さを確保している。また、口座振替による償還金の收受を行うことで、効率性を向上させている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水洗化普及がすすんだことで件数は減少しているが、貸付による支援を受けて水洗化を行いたいという需要に応える事業方針はおおむね満たしている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	未収金が発生している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	分割納付回数等の柔軟な対応が必要である。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010100		事業の種類	2		
年度	28	事務事業名	港湾管理事業		予算事業名	港湾管理事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠		担当者名	長治 宏幸
取組み事項		港湾を整備し、有効活用を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		港湾法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	港湾樋門の管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	港湾樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	点検件数	件	24	24	24			

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.084	0.168	200	0.084	50	0.070	83	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,009,365	1,602,230	159	981,366	61	883,993	90	
	事業費	765,200	797,600	104	802,400	101	830,000	103	
	合計	1,774,565	2,399,830	135	1,783,766	74	1,713,993	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,774,565	2,399,830	135	1,783,766	74	1,713,993	96	
合計	1,774,565	2,399,830	135	1,783,766	74	1,713,993	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		樋門点検件数の増減							
指標説明(式)		樋門点検件数の増減							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	24	24	100.0	24	100.0	24	100.0	
	実績	24	24	100.0	24	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.5	0.5	100.0	0.5	100.0	0.18	36.0	
	実績	0.15	0.07	46.7	0.15	214.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	4
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

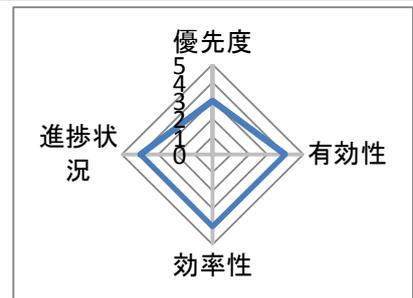
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010200		事業の種類	2		
年度	28	事務事業名	ポンプ場管理事業(港湾)		予算事業名	ポンプ場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	長治 宏幸	
取組み事項		港湾を整備し、有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		港湾法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	旭ポンプ場の管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		県との協定に基づいて、旭排水ポンプ場の施設管理を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	操作件数	件	86	29	27	50	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.198	0.298	151	0.198	66	0.130	66	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,892,637	2,574,890	136	1,840,356	71	1,357,993	74	
	事業費	1,488,941	1,434,259	96	1,410,365	98	1,723,000	122	
	合計	3,381,578	4,009,149	119	3,250,721	81	3,080,993	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	1,500,000	-	1,500,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,381,578	4,009,149	119	1,750,721	44	1,580,993	90	
合計	3,381,578	4,009,149	119	3,250,721	81	3,080,993	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポンプ操作件数の増減							
指標説明(式)		ポンプ操作件数の増減							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	100	100.0	50	50.0	50	100.0	
	実績	86	29	33.7	27	93.1	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		操作件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.26	0.17	65.4	0.13	76.5	0.20	153.8	
	実績	0.22	0.05	22.7	0.07	140.0			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	4
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	3

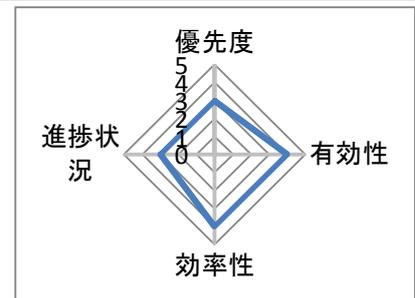
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	異常気象等により操作回数が増加することで、担当課職員の負担が増となる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	担当課全体で対応することにより一部の職員への負担軽減を図る。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010300	事業の種類	2		
年度	28	事務事業名	海岸美化対策事業	予算事業名	海岸美化対策事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	長治 宏幸
取組み事項		港湾を整備し、有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		海岸美化対策事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	相生湾内の海岸美化 (相生湾に浮遊または海岸に放置されたゴミの除去)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾内の海岸美化を促進し、生活環境の保全を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		業務委託により海岸美化を促進する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	回収ゴミ(可燃)	kg	380	1110	540	1000	
	回収ゴミ(不燃)	kg	130	0	0	200	
	回収ゴミ(木くず)	kg	2380	2900	1710	2000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100		0	0.100	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	978,373	943,814	96	348,426	37	1,120,993	322	
	事業費	1,737,072	2,186,640	126	1,655,010	76	2,070,000	125	
	合計	2,715,445	3,130,454	115	2,003,436	64	3,190,993	159	
財源内訳	国庫支出金			-	700,000	-	700,000	100	
	県支出金			-	428,000	-	608,000	142	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,715,445	3,130,454	115	875,436	28	1,882,993	215	
	合計	2,715,445	3,130,454	115	2,003,436	64	3,190,993	159	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		年度内予算執行率							
指標説明(式)		年度内執行額 ÷ 年度内予算額 × 100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	100	-	100	100.0	
	実績			-	78.8	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	毎年ゴミを収集し分別しており、相生湾の環境保全に有効に寄与している。	4
効率性	コストの節減	入札により、コスト縮減が図られている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

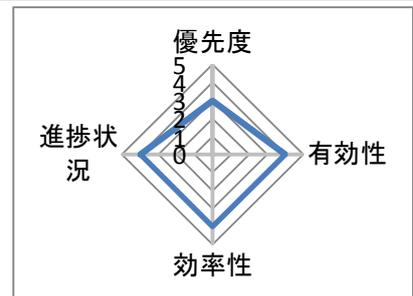
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コスト縮減によりコストパフォーマンスを高める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	改良方法等を検討し、さらなるコスト縮減に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010500		事業の種類	6		
年度	28	事務事業名	港湾整備事業(県事業)		予算事業名	優先度		
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
		施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠		
		取組み事項	港湾を整備し、有効活用を図る		実施計画への記載	有 主要事業の指定		
		実施計画事業名	港湾施設改良事業					
		根拠法規及び関連法規	港湾法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	鰯浜地区住民						
	誰(何)を対象として	相生港鰯浜地区						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生港の多彩な空間を利用						

2 事業の概要 Do

実施の概要	埋立工 V=130,000m ³ 地盤改良 A=3,500m ³					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	工事内容		臨交道路L=227m			

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.237	0.352	149	0.157	45	0.042	27	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,194,809	2,978,918	136	1,531,421	51	662,793	43	
	事業費	1,350,000	450,000	33		0		-	
	合計	3,544,809	3,428,918	97	1,531,421	45	662,793	43	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,544,809	3,428,918	97	1,531,421	45	662,793	43	
	合計	3,544,809	3,428,918	97	1,531,421	45	662,793	43	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性		県事業推進に際して詳細な部分で市民ニーズとの調整を図っている。	4
効率性		事業費の二重投資等が防止出来ている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

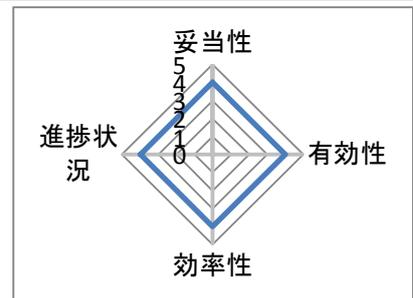
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010600	事業の種類	2
年度	28	事務事業名	海岸美化対策事業(瀬戸内)	予算事業名	海岸美化対策事業(建設管理) 優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	山崎久司
取組み事項		港湾を整備し、有効活用を図る		担当者名	後藤卓
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	相生湾の一斉清掃(相生湾に浮遊または海岸に放置されたゴミの除去)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	海岸の環境保全とゴミのポイ捨て防止の啓発を図り、もって、市民が快適に暮らせる街づくりを図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市・市民ボランティア・関西電力・IHI・漁協等と組み、一斉に相生湾の清掃活動(リフレッシュ瀬戸内)を行う。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	活動回数	回	1	1	1	1
	回収ゴミ(可燃)	kg	2030	1970	270	300
	回収ゴミ(不燃)	kg	1000	240	870	900
	回収ゴミ(汚泥)	kg			1190	1200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.092	115	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	978,373	943,814	96	951,226	101	1,057,793	111	
	事業費	1,737,072	2,186,640	126		0	116,000	-	
	合計	2,715,445	3,130,454	115	951,226	30	1,173,793	123	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,715,445	3,130,454	115	951,226	30	1,173,793	123	
合計	2,715,445	3,130,454	115	951,226	30	1,173,793	123		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	450	450	100.0	450	100.0	450	100.0	
	実績	450	400	88.9	319	79.8			
指標名2		一人あたりのゴミ回収量							
指標説明(式)		(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥) / 参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
kg	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	6.7	5.5	82.1	6.4	116.4			

【効率性】

指標名1		活動事業費の増減							
指標説明(式)		活動事業費の増減							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	108000	117000	108.3	117000	100.0	116000	99.1	
	実績	102632	108320	105.5	97250	89.8			

指標名2		ゴミ1kgあたりの回収コスト							
指標説明(式)		支出合計額/(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40	40	100.0	40	100.0	40	100.0	
	実績	33.9	49.0	144.5	41.7	85.1			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年1回の実施ではあるが、毎年約4tものゴミを収集し分別しており、相生湾の環境保全に有効に寄与している。	4
	組織運営・適正管理	市単独ではなく、相生湾沿岸の企業や漁協、市民ボランティアの協力を得ることで、海岸美化の啓発に有効に寄与する。	
効率性	コストの節減	“ゴミ1kgあたりの回収コスト”は減じている。	3
	執行体制の効率性	現在、年1回の取り組みであるため、建設農林部が総じて中心的役割をはたしている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

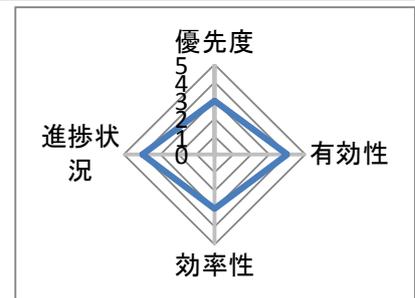
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市民ボランティアの参加人数の増加を図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	参加者の拡大を図り、相生湾の環境美化の促進を図る。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050103020100		事業の種類		6	
年度	28	事務事業名	市内一円河川等改修事業	予算事業名	河川等改修事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長		担当者名	
取組み事項		河川を整備する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		河川整備事業					
根拠法規及び関連法規		河川法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市が管理する河川					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地位住民を水害から守り、安全で心地よい生活ができる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		未整備及び老朽箇所の整備計画を立て整備すること。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	準用河川改修工事	m	0	0	0		
	普通河川改修工事	m	238	126	110.5		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.194	0.080	41	0.080	100	0.478	598	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,861,645	943,814	51	951,226	101	4,107,193	432	
	事業費	11,199,680	12,296,960	110	15,314,480	125	11,850,000	77	
	合計	13,061,325	13,240,774	101	16,265,706	123	15,957,193	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	13,061,325	13,240,774	101	16,265,706	123	15,957,193	98	
合計	13,061,325	13,240,774	101	16,265,706	123	15,957,193	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施率							
指標説明(式)		工事実施件数 ÷ 工事計画件数 × 100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	50	100	200.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

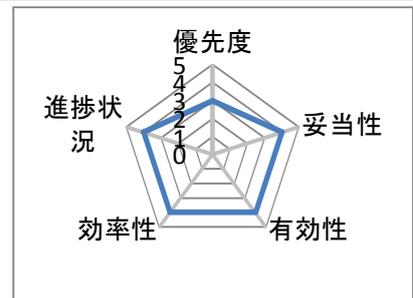
指標名1		年度内予算執行率							
指標説明(式)		年度内執行額 ÷ 年度内予算額 × 100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	72.3	79.6	110.1	99.8	125.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	防災に配慮した魅力ある河川の整備を図っている。	4
効率性	コストの節減	競争入札を導入し、業者間の競争意識を高めコスト縮減を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コスト縮減により、コストパフォーマンスを高める工法を検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストを抑えて、安全快適な河川環境を構築する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020200	事業の種類	2
年度	28	事務事業名	河川管理事業	予算事業名	河川管理事業
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠	担当者名
取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名	河川環境美化整備				
根拠法規及び関連法規	河川法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	河川樋門の管理			
	意図(どのような状態にしたいのか)	河川樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	点検件数	件	37	37	37	37
	報償金の額	円	111000	111000	111000	111000

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.098	0.052	53	0.052	100	0.328	631	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,117,837	734,318	66	740,246	101	2,922,193	395	
	事業費	17,108,040	23,079,360	135	22,464,840	97	23,217,000	103	
	合計	18,225,877	23,813,678	131	23,205,086	97	26,139,193	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,225,877	23,813,678	131	23,205,086	97	26,139,193	113	
合計	18,225,877	23,813,678	131	23,205,086	97	26,139,193	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	樋門点検件数の増減								
指標説明(式)	樋門点検件数の増減								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	37	37	100.0	37	100.0	37	100.0	
	実績	37	37	100.0	37	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×主幹以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.20	0.37	185.0	0.37	100.0	0.06	16.2	
	実績	0.20	0.37	185.0	0.37	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	4

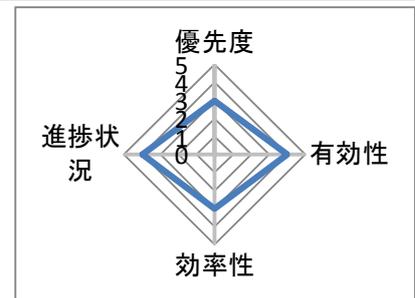
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト縮減に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト縮減に努める。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020300	事業の種類	5
年度	28	事務事業名	河川愛護事業	予算事業名	河川愛護事業
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課	
施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	山崎久司	担当者名 後藤卓
取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		なし			
事業の目的	誰のために(具体的に)	河川底の土砂水草除去や護岸の草刈やしゅんせつ等を実施した自治会			
	誰(何)を対象として	河川愛護事業報奨金の支出			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民に河川の清掃活動に参加してもらうことで、河川を大切にしようとする心を育み、直接的・間接的に河川美化を促すとともに、自治会活動を強化し地域住民の連携を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		河川愛護事業を実施した自治会に対し、参加人数・実施時間・作業距離に応じて報奨金を支出する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	実施した自治会数	件	17	19	17	
	報償金の額	円	359960	358700	359930	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.180	0.240	133	0.180	75	0.100	56	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,753,173	2,140,934	122	1,704,726	80	1,120,993	66	
	事業費	359,960	358,700	100	359,930	100	360,000	100	
	合計	2,113,133	2,499,634	118	2,064,656	83	1,480,993	72	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,113,133	2,499,634	118	2,064,656	83	1,480,993	72	
合計	2,113,133	2,499,634	118	2,064,656	83	1,480,993	72		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実施した自治会数の増減							
指標説明(式)		実施した自治会数の増減							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	17	17	100.0	19	111.8	19	100.0	
	実績	17	19	111.8	17	89.5			
指標名2		報奨金の額の増減							
指標説明(式)		報奨金の額の増減							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	360000	360000	100.0	360000	100.0	360000	100.0	
	実績	359960	358700	99.6	359930	100.3			

【効率性】

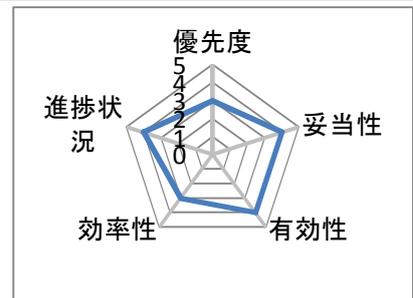
指標名1		1件あたりの報償金の額							
指標説明(式)		報奨金の額／実施した自治会数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
金	目標	21176	21000	99.2	18947	90.2	21000	110.8	
	実績	21174	18879	89.2	21172	112.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	実施自治会がおおよそ限られており、河川流域にありながら実施していない自治会もある。	4
	上位施策への貢献度	住民自ら清掃に携わることで、単に河川の美化清掃の実施に止まらず、ゴミのポイ捨て等を防止させる効果が期待できる。また自治会活動の強化による住民間の連携強化も期待できる。	
効率性	コストの節減	1件あたりの報償金の額は、やや減少傾向にある。	3
	手段の最適性	実施回数は各自治会とも年1回程度と、実施頻度が低い。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	実施自治会がおおよそ限られており、河川流域にありながら実施していない自治会もある。実施回数も各自治会回程度しかない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	実施自治会並びに実施回数の増加

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020400		事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	ポンプ場管理事業(河川)	予算事業名	ポンプ場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	長治 宏幸
取組み事項		河川を整備する		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		河川法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	大谷川排水機場の管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		県との協定に基づいて、大谷川排水機場の施設管理を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	操作件数	件	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.172	0.246	143	0.172	70	0.160	93	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,691,189	2,185,826	129	1,644,446	75	1,594,993	97	
	事業費	3,385,278	3,507,071	104	3,305,146	94	3,895,000	118	
	合計	5,076,467	5,692,897	112	4,949,592	87	5,489,993	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	3,892,400	-	3,893,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,076,467	5,692,897	112	1,057,192	19	1,596,993	151	
合計	5,076,467	5,692,897	112	4,949,592	87	5,489,993	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポンプ操作件数の増減							
指標説明(式)		ポンプ操作件数の増減							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	1	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

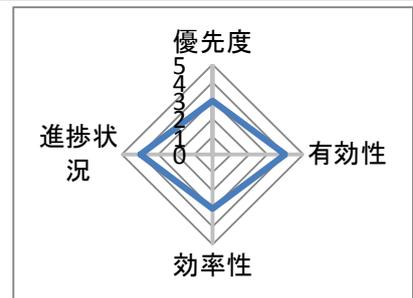
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050104010100		事業の種類		1	
年度	28	事務事業名	景観形成事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	名倉・古川
取組み事項		特性を活かす景観をつくる		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	建築物、構造物等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	景観に対する意識の向上を促し良好な景観形成を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		優れた景観を創造し、又は保全するため県の「景観の形成等に関する条例」に基づく景観誘導。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.136	0.276	203	0.084	30	0.116	138	
	臨時職員			-		-	0.100	-	
支出内訳	人件費	1,412,261	2,410,286	171	981,366	41	1,524,293	155	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,412,261	2,410,286	171	981,366	41	1,524,293	155	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,412,261	2,410,286	171	981,366	41	1,524,293	155	
	合計	1,412,261	2,410,286	171	981,366	41	1,524,293	155	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	景観行政そのものが緩やかな行政指導であり、短時間で目に見える効果が上がりにくい。	3
効率性	コストの節減	普及啓発活動として県が作成したパンフレット等の配布	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

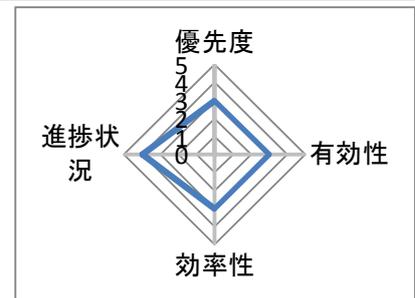
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	県の景観条例により大規模建築物等については、審査されているが、対象建築物が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	景観行政に関する普及・啓発の方法を検討する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104020100	事業の種類	2
年度	28	事務事業名	公園施設維持管理事業	予算事業名	公園施設維持管理事業 優先度
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
施策名(中)	相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	齊藤誠	担当者名
取組み事項	公園、緑地を整備する		実施計画への記載	主要事業の指定	
実施計画事業名	都市公園整備事業		都市公園維持修繕事業		
	中央公園テニスコート芝張替修繕				
根拠法規及び関連法規	公園法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	公園の委託による維持管理			
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市公園等の健全な発達を図り、公共の福祉に資する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	公園の維持管理を委託することで、公園の整備充実を図っていく。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	公園の管理箇所数	箇所	36	41	41	41

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.336	0.220	65	0.170	77	0.292	172
	臨時職員	0.300	0.300	100	0.300	100	0.300	100
支出内訳	人件費	3,690,861	2,746,994	74	2,411,476	88	3,468,493	144
	事業費	36,186,524	77,514,594	214	58,735,471	76	55,310,000	94
	合計	39,877,385	80,261,588	201	61,146,947	76	58,778,493	96
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	39,877,385	80,261,588	201	61,146,947	76	58,778,493	96
合計	39,877,385	80,261,588	201	61,146,947	76	58,778,493	96	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	公園1箇所あたりの維持管理コスト								
指標説明(式)	維持管理費/管理公園数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	1090470	2512833	230.4	1407880	56.0	1349024	95.8	
	実績	1005181	1890649	188.1	1432572	75.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住民が気持ちよく施設を利用できるように清潔に維持されます。	4
	期待する目標	災害時の避難地にも指定されていることから、日頃の維持管理が必要。	
効率性	コストの節減	みんなで地域を守るという観点からも、地域住民への協力による維持管理の必要性があると思われる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり事業が進捗している。	4

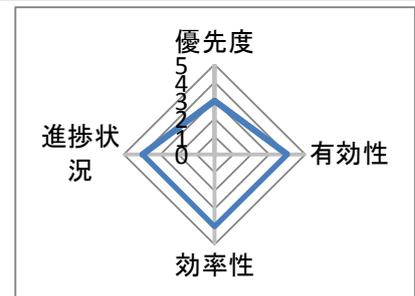
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	年々、地元自治会から公園管理の辞退傾向がある。今後、公園管理について検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	今後、地元自治会から公園管理辞退が出ないよう、方策を検討する。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104030100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	緑化推進事業		予算事業名	緑化推進事業	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する			担当課長	松本 秀文	
取組み事項		緑化を推進する			実施計画への記載	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民にうるおいとやすらぎを与える、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民の緑化に対する関心を高め緑化普及、啓発を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市花と緑の協会に委託し、市内のフラワーポット、花壇の維持管理、栽培用の苗木の配布を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	講習会開催回数	回	3	3	3	3	
	市内花苗植栽数	株	5498	4940	5031	5100	
	まちなみガーデン庭	個所	54	51	44	45	
	つばき園の清掃回数	回	5	5	5	5	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.340	0.420	124	0.316	75	0.320	101	
	臨時職員	0.075	0.516	688	0.520	101	0.492	95	
支出内訳	人件費	3,175,103	4,787,498	151	4,085,126	85	4,221,341	103	
	事業費	1,458,580	1,294,580	89	1,291,940	100	1,300,000	101	
	合計	4,633,683	6,082,078	131	5,377,066	88	5,521,341	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,633,683	6,082,078	131	5,377,066	88	5,521,341	103	
	合計	4,633,683	6,082,078	131	5,377,066	88	5,521,341	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ガーデニング講習会開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		市内プランター・花壇に植栽した花苗数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	5500	5500	100.0	4800	87.3	5100	106.3	
	実績	5498	4940	89.9	5031	101.8			

【効率性】

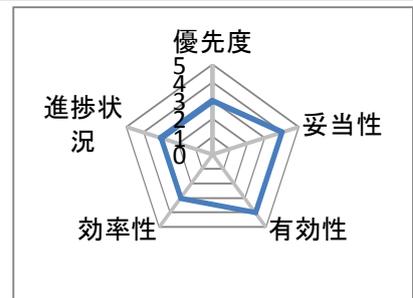
指標名1		事業費に係る花苗購入費の割合							
指標説明(式)		花苗購入費÷事業費							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	27	25	92.6	25	100.0	27	108.0	
	実績	24	29	120.8	27	93.1			
指標名2		まちなみガーデンの開催にかかる参加者1人あたりの経費							
指標説明(式)		まちなみガーデンの開催費/参加数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	4000	6000	150.0	4753	79.2	4785	100.7	
	実績	4286	6151	143.5	4753	77.3			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民団体の花と緑の協会に委託し、継続的に植栽管理を行っている。また、目標の1つの若年世代を対象としたガーデニング講習を開催し、多くの小学生の参加を得た。	4
	市民サービス	多くの種類の花苗の配布や市民ニーズの高い講習会の開催が不可欠である。	
効率性	執行体制の効率性	花と緑の協会会員が管理する花壇、プランターの一部に、高齢化により植栽管理が困難な場所が発生してきている。	3
	手段の最適性	これまで主に花と緑の協会だけに委託してきたが、より柔軟な事業体制を検討する時期に来ている。(県のアドプト制度はある)	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	まちなみガーデンの個人宅庭の参加数が減少している。庭主の数を増やすとともに質の向上についても考える必要がある。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	委託先の花と緑の協会が管理するプランター、花壇管理等の植栽管理の手法の見直し。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	花と緑の協会の会員の高齢化と人数が減少している。継続していく手法の検討が必要。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050105010100		事業の種類		9	
年度	28	事務事業名	公債費元金償還事業	予算事業名	公債費元金償還事業	優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		その他		担当課長	山崎 久司	担当者名	松本 好弘
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法・地方財政法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道を利用する市民					
	誰(何)を対象として	公共下水道を利用する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ					

2 事業の概要 Do

実施の概要		公共下水道の建設財源として借り入れた下水道事業債の元金を償還する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	下水道事業債元金償還(公共分)	円	1433429077	1460391595	1465639670	1442884000	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.136	0.136	100	0.120	88	0.120	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,412,261	1,362,806	96	1,252,626	92	1,278,993	102	
	事業費	1,433,429,077	1,460,391,595	102	1,465,639,670	100	1,442,884,000	98	
	合計	1,434,841,338	1,461,754,401	102	1,466,892,296	100	1,444,162,993	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債	680,000,000	670,800,000	99	604,900,000	90	642,000,000	106	
	その他	108,626,000	106,222,000	98	131,263,726	124	104,156,000	79	
	一般財源	646,215,338	684,732,401	106	730,728,570	107	698,006,993	96	
合計	1,434,841,338	1,461,754,401	102	1,466,892,296	100	1,444,162,993	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

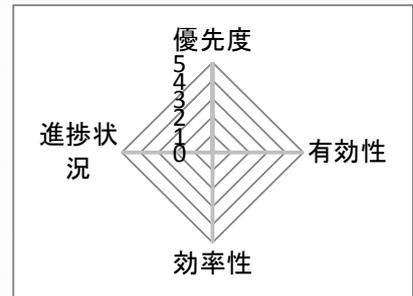
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050105010200	事業の種類	9
年度	28	事務事業名	公債費利子償還事業	予算事業名	公債費利子償還事業
優先度		実施計画	優先度		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課	
施策名(中)	その他		担当課長	山崎 久司	担当者名
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定
				無	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	下水道法・地方財政法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道を利用する市民			
	誰(何)を対象として	公共下水道を利用する市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ			

2 事業の概要 Do

実施の概要	公共下水道の建設財源として借り入れた下水道事業債の利子を償還する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	下水道事業債利子償還(公共分)	円	414634159	379523445	343247973	320171398

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.136	0.136	100	0.120	88	0.120	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,412,261	1,362,806	96	1,252,626	92	1,278,993	102	
	事業費	414,634,159	379,523,445	92	342,399,932	90	320,136,000	93	
	合計	416,046,420	380,886,251	92	343,652,558	90	321,414,993	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	416,046,420	380,886,251	92	343,652,558	90	321,414,993	94	
合計	416,046,420	380,886,251	92	343,652,558	90	321,414,993	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

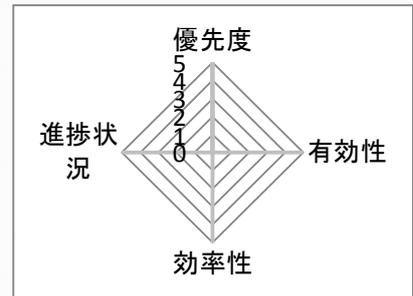
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050105010300		事業の種類	9				
年度	28	事務事業名	公債費元金償還事業		予算事業名	公債費元金償還事業		優先度		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課				
施策名(中)		その他			担当課長	山崎 久司		担当者名	松本 好弘	
取組み事項		その他			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		地方財政法								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業集落排水等を利用する市民								
	誰(何)を対象として	農業集落排水等を利用する市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ								

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等の建設財源として借り入れた下水道事業債の元金を償還する。							
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画			
	下水道事業債元金償還(農集分)	円	212789708	217665862	222664503	231396614			

3 投入資源

		会計区分	農集特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.088	0.088	100	0.080	91	0.080	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,040,357	1,003,670	96	951,226	95	962,993	101	
	事業費	212,789,708	217,665,862	102	222,664,503	102	231,397,000	104	
	合計	213,830,065	218,669,532	102	223,615,729	102	232,359,993	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債		102,900,000	-	101,200,000	98	103,600,000	102	
	その他			-		-		-	
	一般財源	213,830,065	115,769,532	54	122,415,729	106	128,759,993	105	
合計	213,830,065	218,669,532	102	223,615,729	102	232,359,993	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

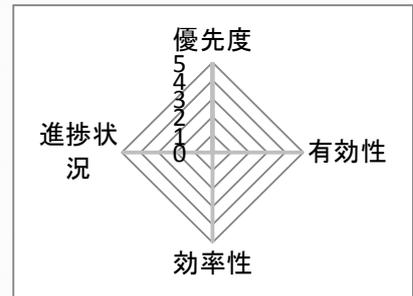
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050105010400	事業の種類	9
年度	28	事務事業名	公債費利子償還事業	予算事業名	公債費利子償還事業 優先度
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課	
施策名(中)	その他		担当課長	山崎 久司	担当者名 松本 好弘
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		地方財政法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業集落排水等を利用する市民			
	誰(何)を対象として	農業集落排水等を利用する市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ			

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等の建設財源として借り入れた下水道事業債の利子を償還する				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	下水道事業債利子償還(農集分)	円	79163679	74470306	70187183	67496457

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.080	95	0.080	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,009,365	973,742	96	951,226	98	962,993	101	
	事業費	79,163,679	74,470,306	94	70,044,800	94	67,497,000	96	
	合計	80,173,044	75,444,048	94	70,996,026	94	68,459,993	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	80,173,044	75,444,048	94	70,996,026	94	68,459,993	96	
	合計	80,173,044	75,444,048	94	70,996,026	94	68,459,993	96	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

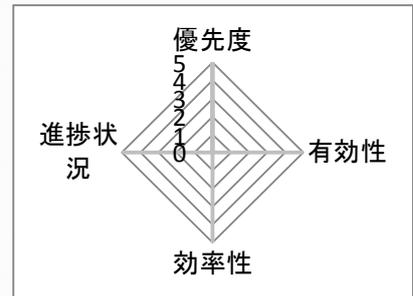
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0